卓越した技能者の表彰

表彰者名簿

被

厚 生 労 働 省 技能者表彰審查委員名簿 附 技 能 者 表 彰 規 程

次

名

簿

| 第 10 部門 | 第 9 部 門 | 第 8 部 門 | 第 7 部 門 | 第 6 部 門 | 第 5 部 門 | 第 4 部 門 | 第 3 部 門 | 第 2 部 門 | 第 1 部 門 |
|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------------|------------------|---------------------------|------------------|------------------|
| タイル張工、左官、建築板金工及び建設機械運転の職業等 | 建設の職業等 | 衣服の職業 | 染色・紡糸等繊維製造の職業 | 輸送用機械器具組立・修理の職業等 | 電気機械器具組立・修理及び電気作業関係の職業 | 一般機械器具組立・修理の職業等 | 金属溶接・溶断・めっき工、その他の金属加工等の職業 | 金属加工の職業 | 金属材料製造の職業 |
| 21 | 19 | 17 | 15 | 14 | 12 | 9 | 7 | 4 | 1 |

| | 5 | | | 4 | | 3 | | | 2 | | | 1 | | 整 | 理 | 番号 |
|--|---|---|---|--|---|---|---|---|--|--|---|--|--|--------|-------------|-------|
| 愛知県 | | 機械込造型工 | 千葉県 | 製銑工 | 栃木県 | | 熱間圧延工非鉄金属 | 栃木県 | | 鋳込工 | 北海道 | | 日世鍛造日 | 推薦团体名等 | | 職 種 名 |
| (五十五歳) | 中家 | か い え ひ と | (五十八歳 | 大 也 専 美 おおいけ ひろみ | (五十五歳) | 渡辺保夫 | たなべやす | (五十八歳) | 出 頭 光 好 | しゅっとう みつよし | (六十三歳) | 阿 部 俊 則 | あべとしのり | (年齢) | 氏名 | りが |
| 愛知県 | | トヨタ自動車(株) | 千葉県 | 東日本製鉄所 | 栃木県 | | 真岡製造所(株)神戸製鋼所 | 栃木県 | | 栃木工場 日産自動車(株) | 北海道 | | 室蘭製作所(株)日本製鋼所 | 就業地 | | 所属名 |
| った技能と経験を生かして後進の指導育成にも努めている。許さない世界トップレベルに押し上げた。技能五輪国際大会・全国大 | 木型製作方法の標準づくりに取り組み、鋳造品の生産性と品質を他社の歴の見が、対策を持ている。 | 度の手加口支指を発揮。また、怪量とこ句った専句で复雑な従事してきた。モータースポーツの鋳造品生産において、○氏は三七年間にわたり一貫して自動車用鋳造部品の木型製作 | 短記録(六二日間)での改修にも貢献した。 短記録(六二日間)での改修にも貢献した。 らに、現在も稼働を続ける千葉第六溶鉱炉の改修においては、当時の組み、後継の指導に尽力している。 | た。また豊富な印識と怪倹に基づく支能を云承すべく教育の土租み乍りにも断する技能に卓越し、当該技能の体系化により、溶鉱炉の安定操業に貢献しデータ等から溶鉱炉内の反応状況や設備異常の些細な兆候を的確に把握・判入社以来一貫して溶鉱炉の操業に従事。五〇〇以上の膨大な温度・圧力 | 功し、工場の生産能力向上に貢献した。 小され、正規の移働時間を増加させる上を削減。準備時間の削減に伴い、圧延機の稼働時間を増加させる。 | 、各乍裳の有効生、効率生を再分折し牧善勺容の兼定を守ハ、 早間一〇延工程の構造を熟知しており、仕上圧延機における準備余裕時間の削減 | 延の第一人者として品質向上や生産性の向上に貢献してきた。また、圧延中も状況に応じて調整を行うことのできる高度な技能を有し、熱間圧延工程に三〇年以上携わり、製品ごとに最適な条件を迅速に | 海外拠点も含めたグローバル供給できる生産量が実現した。6一〇本取りの砂型が実現し、工場の生産能力が三〇%向上したこ | 得し、社内外の鋳造製作において標準化された。それにより、従来の五本取ス抜きが可能な砂型を考案し不良品の撲滅に成功した。この砂型は特許を取 | 付き不良が砂型内部で発生するガスの影響である事を解析・実証し、ンジン部品のカムシャフト生産ラインで二〇%発生していた鋳造欠陥 | してOJTにより鍛造技能や新工程の発想要領を伝承中である。産性も向上させつで製造可能とした。現在は現場作業員、技術スタッフ | 近形するための使見治見の改善、鍛錬工程します。 そうに、品質も用するための使見治見の改善、鍛錬工程、圧工質を考定し、品質も用するというなフレス機の能力を超える形状の製品に対して | 「の月)(ご))に、これで、後)に引きる。殊異形品の鍛造技能に卓越し成果を挙げてきた。入社以来四五年間にわたり鍛造技能の研鑽に努め、 | | 技能 功績 の 概 要 | |

| | 10 | | | 9 | | | 8 | | | 7 | | | 6 | | 鬼 | 理 | 番号 |
|---|---|--|--------|--|---|------------------|--|------------|--|--|--|--|--|--|--------|-----------|-------|
| 兵庫県 | | 熱間圧延工 | 大阪府 | | 中間製品検査工 | 京都府 | | 手かじ(鍛造)工 | 愛知県 | | 金属組織検査工 | 愛知県 | | 金属熱処理工 | 推薦団体名等 | | 職 種 名 |
| (六十歳) | 谷口辰也 | たにぐち たつや | (四十六歳) | 井 上 和 行 | いのうえ かずゆき | (七十三歳) | 注 野 昭 夫 | さのあき | (六十二歳) | 小 池 政 弘 | こいけまさひろ | (六十六歳) | 村上保明 | らかみ やすあ | (年齢) | 氏名 | りが |
| 兵庫県 | | 鋼管事業部 尼崎製造所新日鐵住金(株) | 大阪府 | | (独)造幣局 | 京都府 | | 金属工芸平安美芳 | 愛知県 | | (株)大同分析リサーチ | 愛知県 | | 豊和工業(株) | 就業地 | | 所属名 |
| に向けた多能工化の推進に積極的に貢献している。在は、自己の経験を活かした後進の育成及ひ生産変動に強い工場体制の | 見らは、月巳の各後では、ここを生り節なながここであって弱な引りて改善等、大幅な生産性向上、品質異常(疵・寸法不良)の低減に寄与した。一化等の高能率製管技法の確立、プレス挙動計測システム確立による寸法精度 | 越し、製管工具等の改善、押し抜き力計算精度向上による製管段取の適エネルギー産業向け大径継ぎ目無し鋼管の熱間押抜製管法に関する技能 | | 焼鈍等の加工特性の知識を活かして検査情報を的確にフィードバックし、円度が求められる厳しい品質検査において優れた技能を発揮している。圧穿や | ――円から五○○円用の円形の全てにおいて、直径±○.○一 ㎜単位の金属圧延板から貨幣の元になる「円形」と呼ばれる円板の加工に長年従 | 技を生かす試みにも参加している。 | る。また、歴史的建築物における工芸装飾の復元や、現代工芸の中に伝則の保護に貢献している。古墳から出土した装飾品の復元を行ったこと | 養社鋳 ご寺金 | 積極的に貢献している。 一ン化等を通して広く社会に貢献している。 更に、後継者の指導・育成 | 、ビジャールの量産化に貢献した迅速分析方法を開発し、排気がよのででは、イン・イールの量産化に貢献した迅速分析方法を開発し、排気がよる。それでは、原体ののターオブヤーシャー搭載車 | こう話と)質性にほよ。ここでは、許を取得。この卓越した技能を駆使金属材料の元素分析に四四年従事し | 標準化等を通し、後継者の育成にも積極的に貢献している。 標準化等を通し、後継者の育成にも積極的に貢献している。 さらにその技能を生かして、校正作業時の数値化による作 | 条件の決定に対して〇二二単位で調整するには、これを持たけるのでは、大きに対して〇二二単位で調整するができる卓越した方のでは、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きに | ースを駆吏し、才質・質量・形犬こよる曼炭更と深さの変動を見素濃度の状態をつくりあげる。客先からの厳しい図面要求値にも、熱処理品の処理および浸炭炉の運用・管理に長年従事し、炉操業 | | 技能 34 種 要 | |

第1部門

| Ī | | 1 | 1 | | 東 | | 番号 | <u></u> |
|---|---------------------|--|--|--|--------|---------|-----------|-------------|
| | 大分県 | | | 製銑工 | 推薦団体名等 | | | 職 種 名 |
| | (六十歳) | | 三 甫 | み う ら え い じ | (年齢) | 日 | | ふりがな |
| | 大分県 | | 3 | 大分製蠘所新日鐵住金(株) | 就業地 | | | 所属名 |
| | 、全国六箇所の製鉄所で活用されている。 |))夏二文、高声二段)段請:『ユスス二月』の悪態書、女育資計:~あたりの国内記録である月産四四万tの達成に貢献した。自身の技能を | 、供給量変動を検知する技能に卓越し、操業トラブルを未然に防ぎ高林祭二、打貨がでいる。 | 倹田する支能並びこ高戸の羽コの運度等から欠き込まれる高温空気の温高炉に原料を供給するベルトコンベアの摩擦音等から、ベルト蛇行の予 | | 书 | も カ 青 つ 既 | |

| | 16 | 1 | 5 | 1 | 4 | 1 | 3 |] | 12 | 整理 | 番号 |
|--|---------------------------------------|--|--|---|---|---|--|---|--|---------------|-------------|
| 愛知県 | フライス盤工 | 長野県 | フライス盤工 | 神奈川県 | 工作機械工数値制御金属 | 神奈川県 | 旋 盤 工 | 茨城県 | 工作機械工数値制御金属 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 職 種 名 |
| (五十四歳 | 山 﨑 和 彦 | (四十四歳 | と 気 | (六十一歳 | ヤーザー 豊一 作 | (六十一歳 | 下 宮 三 智 男こみ や み ち お | (五十八歳 | 井 坂 智 明 | | 毛 り が な |
| 愛知県 | デンソー技研センター | 長野県 | 長野オリンパス(株) | 神奈川県 | 日産自動車(株) | 神奈川県 | 三菱プレシジョン (株) | 茨城県 | 機械システム事業部ツビジネスユニットソビジネスユニットの株)日立製作所 | 就業地 | 所 属 名 |
| 社内検定振興の講演等を通じて、技能振興や後進育成に貢献していまた、その技能と経験を活かし、技能検定委員、技能グランプリ競手系を持ち、指導者としても名目力会・国際力会で名うタリテーを | としても全国大会・する。技能五輪全国切削条件を導き出し、熱や形状による歪み | として後進の育成を行っている。として後進の育成を行っている。おの加工担当として、試作部品や特注品の加工を行う傍ら、技能道加工することができる技能を有している。また、光学機器に使われ | ーザ」と呼ばれる光路長を確保するキーパーツを、角度誤差二分以内のニングセンタを駆使し、脳外科手術用顕微鏡に使われる部品である「ミ汎用フライス加工のノウハウを活かし、最先端の三次元CAM及び五軸 | 進指導に取組んでいる。 型製作部門の経験を活かし、人事教育部門の社内訓練校で若手中核人硬度材料」の旋削加工方法を確立し、加工時間を大幅に短縮した。近 | をしてきた。特に冷間、温間鍛造用金型製作では、常に第一線に立って、自ら培ったノウハウを活かし、年にわたり機械加工業務に従事し、旋盤加工におい年にわたり機械加工業務に従事し、旋盤加工におい | 実作業の傍ら後進の指導・技能伝承にも努めている。 実作業の傍ら後進の指導・技能伝承にも努めている。 銀在な切削工具、治具等を考案し、卓越した技能で曲がりなく加工するこ | 捻りバネ加工は、難削材を同心度一〇畑以状や許容公差に合せた加工方法を確立した。旋盤加工一筋に勤め、小径ジャイロ部品や | 導している。 導している。 導している。 準がは、機械加工全般において汎用加工をNC加工へ置き換え、高効率化を、機械加工全般において汎用加工をNC加工へ置き換え、高効率化を | 取り組み、加工支術として確立した。、 熟練技能を要する機械加工において分野で卓越した技能を有している。 特圧縮機、送風機など各種産業機械の部 | Í Ž | 支能分漬の概要 |

| 2 | 21 | 2 | 0 | 1 | .9 |] | 18 | 1 | .7 | 整理 | 番号 |
|--|---|--|--|--|---|--|---|---|--|--------|-------------|
| 兵庫県 | 金属手仕上工 | 大阪府 | フライス盤工 | 三重県 | 金属手仕上工 | 愛知県 | 金属手仕上工 | 愛知県 | 板金工 | 推薦団体名等 | 職 種 名 |
| (五十四歳 | 半 二 田 照 明 はんにた てるあき | (七十歳 | 関 本 文 安 | の五十三歳 | 高 木 東 ぎたかぎ やすひこ | (五十七歳 | 明 他 好 高かどいけ よしたか | (六十三歳 | 有 対 E 長ありむら まさみ | | 毛 り が な |
| 兵庫県 | 菱彩テクニカ(株) | 大阪府 | (株)テクノスタッフ | 三重県 | かナソニック (株) | 愛知県 | デンソー 技研センター | 愛知県 | 工機工場アイシン精機(株) | 就業地 | 所 属 名 |
| 上げ作業においても、更なる技能の向上に日々邁進している。及び部内の安全主任として各職場の安全作業に貢献している。注型金現在は、仕上げ職種の技能検定委員や職場内の管理監督者として部下 | 縁物製作に必要な注型金型の成形面を数μ単位で仕上げる作業を担当してい精密な手仕上げ技能に卓越し、国内外の変電所に納められる開閉機器用の絶樹脂を封入し硬化させる樹脂注型金型をはじめとする機械加工金型部品の | 得ている。 一語では、 一語では、 一語では、 一語では、 一語では、 一語では、 一語では、 一語では、 一語では、 一語では、 「語では、 「語では、 「語では、 「語では、 「語では、 「語では、 「語では、 「語では、 「語では、 「 | 発・式乍こ兆銭し、多くの女辱友責を考した。前畿良哉爰「ものづくり五皿の加工精度を達成した。この技能を駆使し、電気製品生産用自動機有している。特にフライス盤加工においては、エンドミルに改良を加えフライス盤をはじめとする機械部品加工に幅広い知識と優れた技能・経 | づくり技能の伝承にも取り組んでいる。学校でも手仕上げ、ヤスリ作業の技能指導にあたり、社内外を問わず優位性確保に貢献した。また、近年はものづくりマイスターとして、 | を、超高速条件下で安定的に可能において、その卓越した技能を発金型の組立調整作業に長年従事し | 後継者育成にも積極的に貢献している。現在は職業訓練指導員として、将来のものづくりを担う人材育いる。現在は職業訓練指導員として、将来のものづくりを担う人材育は得られない一四を超える高精度の測定器に整備できる優れた技能を | Vブロック、刃先勾配測定器などもで、R仕上げ、精密組付などができる。作を中心とした手仕上げ作業に卓越し | 善に取り組みつつ、後進の育成に努めている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 数の低減や生産性の向上に貢献した。また構想力にも長け、現地現物で、社内各工場の自動車部品製作専用設備の製作や改善にその技能を発揮板金・鉄工・製缶・配管など多様な板金・鉄工構造物製作の技能に卓越 | 食が糸の木 | 支能为責の既要 |

| | 2 | 3 | | | 2 | 2 | | 虫 | | 番爿 | 클 |
|--------------------|---|--|--|---------------------------------------|---|---|---|---------------|---------|---------|------|
| 鳥取県 | | | 旋盤工 | 奈良県 | | - † | 加金 工 選 共 殊 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | | | 職種名 |
| (七十歳) | + L | | | (七十歳) | 里 | 臣 野 | いくのくにひこ | (年齢) | 日 | | ふりがな |
| 取 | | 鋼機器工 | 奈良県 | | | シバタ製針(株) | 就業地 | | | 所 属 名 | |
| 、現場の生産性向上にも寄与している。 | とすけらまい、 こうがく 系器と容安けらこりこれいら台具と近ここをを工具及びダイス工具を、 旋盤を使い手動で一〇畑単位の精度で加工する | 容器を鉄板からボンベ形状に加工するために用いる高硬度焼入れ材のパニ臭の襲作にすり、「『蛙』が打筒を発打し、いる「臭作的にに 】] | L具の製作こおいて、卓越した支能を発軍している。高い機密性と安全性が求められるLPガス容器の製造 | ている。 に取り組む他、工業高校等において講師を務め、後進の指導育成 | 品質の向上と廃油量の削減に大きく貢献した。現在は、新たなラウンド流の使用量及で力素量で植り排える力に治りの植材で閉外でそことで | 由の吏用量及が加熱量を亟力印える加工去)の幾或を開発することで、ミドライ加工に対応したメリヤス針冷間鍛造加工(金属加工を施す際 | さ四回以下の針)を製造する専用機械の改良開発に関する技能に卓越し、メリヤス針(糸をループ状にしたニット素材を編み出す長さ五~一五回 | | 平 彩 〇 相 | も カ 責 つ | |

| | 28 | 27 | 7 | 4 | 26 | | 25 | 2 | 24 | 整理 | 番号 |
|--|--|---|---|--|---|--|---|---|---|--------|-------------|
| 愛知県 | 金属製建工 具 | 静岡県 | 木工刃物製造工 | 神奈川県 | 製 か ん エ | 栃木県 | アーク溶接工 | 茨城県 | 製 か ん 工 | 推薦団体名等 | 職 種 名 |
| (五十七歳 | 国 浦 充 と み う ら み つ ぐ | (五十四歲) | ましたまさひ | (六十五歳 | 水 言 道 進みずしな みちお | (五十七歳 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | (五十五歳 | 青 火 頂 孝 兑しみずがしら たかよし | | 毛 り が な |
| 愛知県 | 豊和工業(株) | 静岡県 | 掛川工場 | 神奈川県 | 三進工業(株) | 栃木県 | 生産本部 栃木工場 (株)小松製作所 | 茨城県 | (株)日立産機システム | 就業地 | 所 属 名 |
| 建具全体の技能の底上げに貢献している。 離を後進の育成や協力会社への指導、新製品開発にも遺憾無く発揮し | ら要求値に仕上げていく卓越しに対して目視・触覚による判断金属製防音建具の組立に精通し | 、国内外を問わず多くの技能者の育成に尽力している。また、現在はシニアマイスターとして刃物製造に関わる現場の指導を担ダウンを実現させる等、楽器製造分野に大きく貢献してきた。 | て、新たな刃物の製造や既存刃物の改善を通じて品識を有している。複雑な形状ゆえに不良の発生し易製造に使用する木工加工用刃物の製造に長年従事し | 後進への技能継承、育成指導に積極的に取り組んでいる。り、原寸展開手法の作業標準化に取り組み、テキスト化に成功した原寸図が出力するPCアフリを開発した。さらに市販ンフト等との | するところを、氏は図面記載の寸法や要な、三次元の実寸法を算出する「原製品毎に原寸展開し成形、切断、組立 | 手順を確立させ、品質向上、生産性向上に貢献している。ため、逆歪み法や変形防止の拘束治具を自作し、最も歪みが起きにくたが、逆歪み法や変形防止の拘束治具を自作し、最も歪みが起きにく | とこうと、「うく」とことのできますによって、できているった。氏は、これまで培った技能と応用知識を組み合わせ亀裂は重大な事故に繋がるため、それを防止する「予熱処理」従来、数百tもの加重や衝撃が加わる建設機械にとって、溶接 | 定に実技指導員として活躍する等、後進の指導・育成に貢献している卓越した技能で社内の技能者を育成、構造物鉄工及び工場板金の国家の製缶溶接作業法を確立する等優れた技能を有している。又、豊富な | 差一㎜以内にする加工技術)と主に原子力発電板精密製缶作業法(薄板鋼鈑を切断、孔あけ、配電盤筐体の製缶・溶接に関する技能に卓越し | Í Ž | 支能功實の既要 |

| | 32 | | | 31 | | | 3 | 0 | | | 2 | 9 | | 惠 | | 番号 | |
|--|--|--|-----------------------------------|--|--|--|--|--|--|---------------------------------|--|--|--|---------------|---------------|------------------|------|
| 組合連合会 組合連合会 | | 電気めっき工 | 兵庫県 | | アーク溶接工 | 大阪府 | | | アーク溶接工 | 三重県 | | | 成形プレスエ | 推薦団体名等推薦都道府県・ | | 稲 名 | Ì |
| (六十九歳 | 神 谷 博 行 | かみや ひろゆき | (五十四歳) | 山田雅巳 | やまだまさみ | (六十歳) | 月月月日 | 长行 | ひがしかつひろ | (五十四歳) | 富田 | 日 | とみだこうじ | (年齢) | 日名 | ,1 | ふりがな |
| 東京都 | | 神谷電化工業(株) | 兵庫県 | | 系統変電システム製作所三菱電機(株) | 大阪府 | | | (株)小松製作所 | 三重県 | | ţ | 大安工場 (株)神戸製鋼所 | 就業地 | | 所属名 | ; |
| 注すると同時に展示会等を通じめっきの魅力を精力的に伝え続品に対し高付加価値のめっき加工を施してきた。現在は後進の | た技能を有している。これまで自動車パーツから寺社文化財に至るまで、また、緻密な治具製作や高度な剥離技能による再生めっき加工など卓 | やチタンなど難素材に対する装飾クロムめっき加五〇年以上にわたりめっき作業に従事し、幅約五 | 。に努めるとともに、海外メーカーの技能者への指導・育成にも貢献して | 進及び協力会社への技能伝承に積極的に取り組み、技能力の底上げと品質向溶接を主として担当した。また、職業訓練指導員としても活躍。現在は、後 | ・海外の電力メーカーに納める装置の外形を形成する圧力タンクの板金ガス絶縁開閉装置、発電主回路開閉装置の板金・溶接技能に卓越し、国 | 後継者育成に多大な功績をあげ、業界の発展に貢献している。後継者育成に多大な功績をあげ、業界の発展に貢献している。 | 皮色育、炎丝皮色育の言算、 育立二唇科 く、皮色は気后加二の反)且のヨベルの試作・製品化を溶接第一人者として担当した。また、国内外の | インの効率化、安全確保等に寄与するとともに、国内最大二〇〇t能のみたらず構造牝至位の矢詰を有し、幾多の業記言構造溶技限系 | 足りょなって青苣勿全体)口哉とすく、 急多り斤足十毒苣卒妄見を、 三建設機械の溶接をはじめとする建設機械製造に関する技能に卓越し、溶 | 生産性向上や職場安全化に寄与し、作業者の福祉の増進にも貢献して | 献してきた。また、搬送自動化に向けたロボット設備の改善等に取り41だとに取り約45。世界初のブルミサンペンションー貴量適位第の確 | ピピドニー、又)且、メ、世界刀೧ァレミナス。/ / ノヨノー貫量産本側2錐L技能を有している。それらを活かし、連続鍛造方案の確立、プレス工程 | ・材料の温度管理、離型剤の調合・塗布などの鍛造品量産化に関する優アルミサスペンションの鍛造に長年従事し、鍛造法による金属成形、金 | | 拉 前 巧 緣 の 栂 要 | 多 为 等) 死 | |

| Ş | 37 | 3 | 86 | ć | 35 | | 34 | 3 | 33 | 整理 | 番号 |
|---|--|---|---|---|---|--|--|--|--|--------|-------------|
| 石川県 | 建設機械組立工 | 石川県 | 組立工・調整工・銀工・機械 | 新潟県 | 機械器具組立工 | 東京都 | 組立工・調整工・観整工・ | 栃木県 | 光学レンズエ | 推薦団体名等 | 職 種 名 |
| (五十八歳 | 久 (((((((((((((| (四十九歳 | 離 也 東 生な だち やすお | (五十歳 | 上野東京 | (六十一歳 | 石 井 義 定れてい しい よしさだ | (五十二歳 | 製 山 教 E | | そ り が な |
| 石川県 | (株)小松製作所 | 石川県 | 高松機械工業(株) | 新潟県 | 日鉄住金工材(株) | 東京都 | 日野自動車(株) | 栃木県 | 宇都宮光学機器事業所 | 就業地 | 所 属 名 |
| 道場」を設置し、後進の指導育成にも積極的に取り組んでいる。を見極める図面読解技能にも優れている。また、工場の一角に「もの有しており、加えて、長年培った経験から組立図面から重要な組立ホ | 性やボルトの締め付け作業において最適なトルクを保性やボルトの締め付け作業において最適なトルクを保に高度な技能を必要とする歯当たり調整作業(ベベル建設機械組立に関する豊富な知識と技能を有しており | いる。 また、後進の技能向上に熱心に取り組み、優秀な技能士を多る。また、後進の技能向上に熱心に取り組み、優秀な技能士を多の追従性を高め、工作機械の高精度化組立において卓越した技能 | の感覚をもとに作り上げることで、特にキサゲ作業により、機械加工作機械であるCNC旋盤の組立 | 携わり、後進への世界トップレベルの技能の伝承に努めている。 産性向上に貢献した。現在は、電着ドラム製作の主要溶接工程の見え により陽極と陰極を一体化した複合電解槽の開発に関わり、苛性ソー | ドラムの製造や不溶性電極用架台の開発に寄与した。器製品製作及び異材(異種材質)の接合技能に卓越し、化学プラント等向けのチタン、純ニッケル等の特殊鋼 | 仕上げ職種の中央技能検定委員を務め、技能検定制度にも貢献た工場内の機械をレトロフィットし、生産性向上に貢献した。 | 識・技能を有している。また、長年の経験や勘により○一皿以内となるスライドの摺り合わせを手作業で行おいて○一○一皿の精度で芯出し作業ができる技能に | 、新たにピッチ皿の製作方法を考案する等中心的役割を果たした。主焦点補正光学系装置の直径八○○㎜を超える高難度レンズ研磨におでは、第一人者として認められている。「国立天文台すばる」に搭載 | 五○㎜以上という大口径かつ、面精度三○㎜の高精度精度の測定に卓越した技能を有する。特に半導体露光レンズ研磨用加工工具であるピッチ皿の製作とナノメ | É S | 支能力責の既要 |

| 4 | 12 | 4 | ł1 | | 40 | Ş | 39 | 3 | 38 | 整理 | 番号 |
|-----------------|---|---|---|--|--|---|-----------------|--|--|--------|-------------|
| 日本工作機械 一般社団法人 | 組立工・調整工金属工作機械 | 広島県 | 機械修理工 | 三重県 | 組立工・調整工金属工作機械 | 愛知県 | 機械修理工 | 愛知県 | 組立工・調整工金属工作機械 | 推薦団体名等 | 職 種 名 |
| (五十九歳 | 小 幡 吾 資 | - | 川 上 真 一かわかみ しんいち | (六十五歳 | 黒 木 房 雄- く ろ き ふ さ ぉ | (五十二歳 | 加 | (五十八歳 | 要 * * 学 くりばやし まなぶ | | 毛 り が な |
| 愛知県 | ヤマザキマザック(株) | 広島県 | (福山地区) (福山地区) (株) | 三重県 | (株)精工製作所マニファクチャリング | 愛知県 | ダブリュ(株)アイシン・エィ・ | 愛知県 | (株)ジェイテクト | 就業地 | 所 属 名 |
| 進の指導・育成現在もテー ブル | げ等の手仕よぎ加工作業を駆使して五四以下の精密なテーブル組立調整作業げ等の手仕上げ加工作業を駆使して五四以下の精密なテーブル組立調整技能に優れている。キサゲ仕上げ、ヤスリがけ仕上天一支年にわたり金属工作機械の組立業務に従事し、特に大型複合工作機械の長年にわたり金属工作機械の組立業務に従事し、特に大型複合工作機械の | 管理技能を体系化し、後進技能者への技能の伝承に努めている。管理できる基準や仕組み作りを精力的に行った。また、自らが確立働・生産能力の最大化を実現しただけでなく、その手法を継続的に | という二律相反する条件を最適化することにを追究した。メンテナンスコスト及び修理にを追究した。メンテナンスコスト及び修理に圧延エリアの機械設備保全業務に長年携わり、 | た。 承のため、長年にわたり技能検定委員・補佐員を務め人材の育成場全体の生産性ならびに品質の向上のために手腕を発揮した。他 | その問題解決能力が買われて生産技術職として勤務することとないては豊かな経験と、問題解決能力の高さから数々の難問を解決る。特に立型マシニングセンタ及び複合工作機械の機械組立・調械の製造に長年従事し、その間に培った高度な技能や豊富な知識 | 進に努め、ものづくり現場の安全も追及している。 機で重量物の運搬作業を軽減する等女性技能者も働きやすい環境づくの生産性向上に寄与し文部科学大臣賞を受賞している。また、清り台 | でな機 | 栗林流」として残し、後進の指導・育成に今も活用されている。整方法の技能を持っている。経験を必要とする困難な作業を系統図に整す法の技能を持っている。経験を必要とする困難な作業を系統図によりは、「は、「は、「は、」」、「は、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は | ハては也の自従を許さない。また、きる高度な技能を有する。中でも大わり、加工物の重さや剛性を考慮し機械組立の卓越した技能者として、 | É A | 支能分漬の既要 |

第4部門

| | 4 | 3 | | 惠 | | 番号 | 클 |
|--------|--|---|------------------------------|---------------|---------|-----------|-------------|
| 日本時計協会 | <u> </u> | 三月 | 祖立・ 潤機械 時計 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 5 | | 職 種 名 |
| (四十九歳) | 彦 扇 勝 雄 | | さいとうかつお | (年齢) | 年 | | ふりがな |
| 岩手県 | | | 盛岡セイコー工業(株) | 就業地 | | | 所 属 名 |
| している。 | 機械式時計の知名度向上にも貢献している。また、技能育成塾の講師も承・指導育成の他「国内外の店頭実演や名種メラって取材にも活躍」目 | は、旨算育立つ也、国内トラ言頁[実質の永重とごう]) 奴才こっ舌躍、日量産できる唯一の技能者として活躍中。現職場においては、後進への技 | 整技能)に卓越し、現代の名工高級機械式時計組立に関する技 | | 于新 | と カ 責 つ 既 | |

| | 48 | 47 | 46 | | 45 | 44 | 整理 | 番号 |
|--|---|---------------------------|------------|---|--|---|----------------------|-------------|
| 愛知県 | 半導体チップ | 超立・調整工 | 東京立都コ | 器 | 修理工 電気機械器具 ・ | 電子線応用装置 | 推薦団体名等 | 職 種 名 |
| (五十四歳) | 澤 島 秀 司 | 大 内 正 義 えまさよし | 馬 場 (五十一歳) | だ い さ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 下 山 義 行しもやま よしゆき | お す き ふ さ しす ず き ふ さ し | (年齢) | りが |
| 愛知県 | - (株)デンソー | 受知県でいる。 | 東京株) | スペーステクノロジー 栃木県 | (株) 栃木事業所日立ジョンソン | 日立ハイテクノロジーズ 那珂地区 | 就業地 | 所 属 名 |
| 貢献している。 員献している。 品への新たな自動化技能などを業界内の後継者に伝承し、育成にも積極 | 適性配線支援を自動化する高度な技能を有する。また、微細化が進む半導体いて、技能者のカン・コツに依存するノウハウを数値化し、素子適正配置や従事し、特に車載用製品特有のアナログ回路部パターンレイアウト業務にお半導体チップのパターンレイアウトから試験評価までの一連の業務に長年 | 理、指導をしながら後進育成に努めている。 | 努めている。 | が要求される。そは長月の圣食いら旨もの感覚で母告や臣みを五つ m宙用搭載機器の組立配線は隙間や段差、歪みのない精度とネジ締結の難といわれていた二五M以下に減少させた。 難といわれていた二五M以下に減少させた。 | で終って高口に行うたまで生りなんで見返りを長さずく、上で打ちたまた、検査技能にも優れ、温度の影響による部品の度チェッカーや組込部品の寸法確認装置等を自ら製作し、従来困難であった度チェッカーや組込部品の寸法確認装置等を自ら製作し、従来困難であった 一畑単位の高精度組立技能に優れ、圧縮機ポンプ組立では、圧入部品の角 | る。 電子顕微鏡の組立・調整作業全般に精通している。とりわけ電磁レンズの電子顕微鏡の組立・調整作業全般に精通している。とれ、機械的・電気的に高度な技能が求められ、これまで組立・調整においては、機械的・電気的に高度な技能が求められ、これまで組立・調整においては、機械的・電気的に高度な技能が求められ、これまで組立・調整においては、機械的・電気的に高度な技能が求められ、これまで組立・調整においては、機械的・電気的に高度な技能が求められ、これまで | 主 育 平 糸 <i>O</i> 相 号 | 告 力 責 つ 既 |

| | 51 | | | 5 | 0 | | | 4 | 9 | | 東 | | 番号 | <u>1.</u> 7 |
|--------------------------|--|---|-----------|--|---|--|--------------------|---|--|---|--------|---------------|-----------|----------------|
| 日本電設工業 | ž | 作業者 電気配線工事 | 工業会工業会 | 般社団法 | 之 二 | プリント基盤 | 工 業 動 | 一般社団法人 | <u>7</u> | 且立・周を口配電盤・制御盤 | 推薦団体名等 | 5 | | 職 種 名 |
| (五十歳) | 志 賀 耕 次 | がこうじ | (六十三歳) | 村 田 豊 利 | | よこた とよあき | (五十五歳) | P 山 耶 | Ц | うちやま あきら | (年齢) | 日 | | ふりがな |
| 東京都 | 品質工事管理音 | 東京営業1(株)関係 | 愛知県 | | ・与目セクァン | 方断・2百2ブマン、 三菱重工業(株) | 愛知県 | | | (株)デンソー | 就業地 | | | 所 属 名 |
| 験の判定員を歴任する等、業界発展、後輩の育成に多 | る。また、その優れた技能と経験に基づいて、社内講師など歴任する他べきは金属管加工及び電線接続作業の正確さと速さを併せ持っている点 | 配線作業の正確さ等、電気設備に係る技能全般が賞賛されているが、建築電気設備工事の施工に長年従事し、複雑なシーケンス配線及びケー | にも貢献している。 | ら実幾製作まではんだ付け作業に携わり宇宙開発に貢献してきた。 現在 吸収されることから非常に高度な技能か要求される)に卓越し「認計開 | 及びいうここの声音に高度な友急が悪さいらう こ直遠 く 设十肩プリント基板は部品を熱から守る放熱板が施されているため、はんだの | 用中の温度衝撃に耐える高品質の要求が求められており、宇宙用電子機器組立てのはんだ付け技能(はんだ付けはロ | 伝承するとともに 業界内の技能者の育 | の。 このでは、目内には語い、気は、これに、 きょりのでにない 最大限引き出すものであり、製品開発、設備製作等多くの場面で貢献 | の技能は、各アクチュエータを寸分の狂いなく制御し、各制御機器の能す。ロスコー・JJ(等を賜修したぎ、グンン開後技能に料道している | 3、コボソト・0、10等と巫吏したレーケンス自社製生産設備の配線・制御調整に長年従事し | | 打 育 º 絲 ø 棚 寥 | 臣 力 責 つ 既 | |

| | 55 | | | 54 | | | 5 | 3 | | | 5 | 2 | | 虫 | | 番号 |
|---|--|--|--|--|--|---|---|--------------|----------------------------------|--------------------------------------|--|--|--|---------------|----------------------|-------------|
| 兵庫県 | | 車両修理工 | 愛知県 | | 自動車整備工 | 愛知県 | | 1 | 自動車ぎ装 | 愛知県 | | 7 | 自動工部品 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | | 職 種 名 |
| (五十五歳) | 松尾雅史 | まつお まさふみ | (七十八歳) | 石川 | い し か わ み の る | (五十八歳) | 沒海 | 車 数 | ふかつ としあき | (五十五歳) | 川 順 関 | 1177 417 | かわしま ひろみ | (年齢) | 日 | りが |
| 兵庫県 | | 原料・運輸本部神鋼物流(株) | 愛知県 | | 新明工業(株) | 愛知県 | | | トヨタ自動車(朱) | 愛知県 | | | ダブリュ(朱)アイシン・エィ・ | 就業地 | | 所属名 |
| 貢献している。 技術の導入に取り組むとともに、若年化する職場において後継者の育成 | 省エネ大賞を受賞した。 現在は車輌・軌道・信号部門でICT化をさらに、環境に配慮した機関車のアイドリングストップシステムを「導管値戸や欠する主情に修才」 分気換ぎ 「対象車式に買雇して | 中で、異常箇所と寺官ける支能に憂し、云宮異巻・カを命送に貢伏してき設備導入に長年従事してきた第一人者である。あらゆる設備部品の特性を熟製鉄所構内の鉄道輸送における機関車や軌道装置等の保全業務および新規 | 及や後進の育成に尽力し、自らも第一線で活躍を続けている。は、社内外の技能者に直接指導を行い、自動車整備、修理に関する技能 | クラウン」等、現在までに一〇〇台以上のレストアに貢献してきたまた、「トヨタ博物館」の展示車両、往年の名車「フランクリン」 | の技能を活かし、往年の名車を走行可能な状態へ復元する技能も有して自動車の故障した部品を元通りの姿に復元する技能に優れている。さら | カーの製作方法を確立した。 かんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい | 品で最に見らり、所しいでドハトの後さで持つに並近的なコンスカー試作においては、高度な車両組立技能や部品構造知識を活かし、既 | 安全な設備や。電気自動車 | 氏は四〇年間にわたり、一貫して車両開発を目的とした試作車両の製作 | 後進の育成にも尽力している。 成等に多数の実績を残し、近年では女性 | 11) ではは、 50 miles になりできる。 これでは、 12 miles には、 12 miles によりでは、 12 miles によりできません。 | ブリッドトランスミッション開発では、磁力を利用した「一発ローター~『し』材材化含含力に計算で材を方言作の第一プでである。後車馬重 | 逆事 く、幾或呆全や加口支ビ-D駆りこ式乍り第一人賢でら車両開発用オートマチックトランスミッション製作及び組 | | 书 前 丐 繙 <i>O</i> 椰 要 | 至 力 質) 无 |

| 6 | 30 | 5 | 9 | 5 | 58 | Ę | 57 | 5 | 66 | 整理 | 番号 |
|---|-----------------------|---|--|--|---|--|--|--|---|--------|------------------|
| 工業連合会 | 染色仕上工 | 京都府 | ひも製造工 | 三重県 | 繊維製品仕上工 | 静岡県 | 寝 具 仕 立 工 | 長野県 | 染 物 職 | 推薦団体名等 | 職 種 名 |
| (六十八歳 | 米 島 芳 廣 | (八十八歳 | ト 木 客 惟 | (七十四歳 | 中 上 列 式 | (五十三歳 | 断 見 晃 一 耶ールがい こういちろう | (五十七歳 | * サ K II # | | を り が る |
| 石川県 | 米島染色補正店 | 京都府 | (有)小林辰商店 | 三重県 | 井上テント | 静岡県 | 新貝ふとん店 | 長野県 | 草木染工房「風」 | 就業地 | 所 属 名 |
| り、加賀友禅染色補正の第一人者と高い評制に成功する他、染み・カビ等を除去し、た、五〇年以上補正技法の研究・改善に努 | おいて高く評価され、素材するとともに、素材 | ウハウを広く公開、業界の発展に寄与した。ウハウを広く公開、業界の発展に寄与した。同業他社に製風合い等が変化しない独特の技法を開発。同業他社に製 | 、芸術生ど向上させるととよって、製造後、日牧が圣過してよう、色・固さ、製紐業界に導入し、それまでは不可能であった複雑な柄の製紐を可能、製紐業界は機械であるジャガード織機(トーション機)を試行錯誤のレースを編む機械であるジャガード織機(トーション機)を試行錯誤の | 後進の指導にあたっている。 後進の指導にあたっている。 遊具の設置や工業用ミシン作業の様子を一般の方に紹介する等の活動種の首席技能検定委員や、毎年の「ものづくりフェア」における、ふ | ト支部長として、後進の育成に用いたことで、少人数での大規模なテントの製作にあた | て運営に携わり、全国の寝具技能士の指導的立場で活躍している。て運営に携わり、全国の寝具技能士の指導的立場で活躍している。員として技能士の輩出にも尽力する他、技能グランプリ大会の競技委員具技能士会連合会副理事長などを務め業界の発展に貢献し、中央技能検 | 業界における第一人者として活躍し案し、作業内容を大幅に改善した他實して布団仕立て技能の研鑽を重ね | 友禅染の普及に貢献している。 友禅染の普及に貢献している。 個展や美術館企画展での展示、地域での染色の講師を務めるなど、信の工程を自ら手がけ、より美しく堅ろう度の高い染色の実現に努めて | りる技能に卓越している必を与える「ろうたたき必を与える「ろうたたきが檎、桜、栗などの植物 | 育工系の相 | 支告が責つ既要 |

第7部門

| | 6 | 1 | | 東 | | 番号 | <u></u> |
|--------------------------------|--|--|---|---------------|---------|--------|-------------|
| 般 | | | 染物職 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | | | 職 種 名 |
| (七十歳) | 杯 | 三 橋 京 子 型小はみつはし きょうこ 型小は | | (年齢) | F A | | ふりがな |
| 東京都 | | | | 就業地 | | | 所 属 名 |
| 者の指導育成や美術大学生との新商品開発にも積極的に取り組んで | 半幅帯、和雑貨等の商品を自ら開発し、型小紋の普及に貢献した。また、『卓した打育を有する』 野仕的た業しい教図色の考算。意匠を襲じした | 亘成しこ皮をと肩ける。見代りな折しいなり色の考え、気ごと疑っし十枚以上用い、数多の型付けを繰返し、手で色挿しする「切りばめ」 | 伊勢型紙を用いた型染めの伝統技法を継承する貴重な職人である。型江戸時代から続く型小紋の六代目。型小紋の製作・実演販売に長年従事 | | 育 | D 既 | |

| (| 66 | 6 | 5 | 6 | 54 | 6 | 53 | 6 | 52 | 整理 | 番号 |
|---|--|--|---|--|--|--|--------------------------------|---|--|---------------|------------------|
| 大阪府 | 注文神士立服職 | 静岡県 | 注 文 | 埼玉県 | 注文仕立職 | 福島県 | 注文计量量量 | 山形県 | 注文仕立職 ・子供服 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 職 種 名 |
| (八十一歳 | 山 中 敏 郷 | | ずきたかの | (六十二歳 | い 本 あ さ こ | (七十九歳 | b んどう いさむ | * | 高 も しひと | | 毛 り が な |
| 大阪府 | テーラー山中 | 静岡県 | K O T O テ O B ラ U K I | 埼玉県 | 山本洋裁教室 | 福島県 | 安藤洋服店 | 山形県 | 洋装たかはし | 就業地 | 所 属 名 |
| 技能を伝承するべく後進の育成にも尽力している。と作業効率の改善に繋げ、業界の技能向上の発展に寄与するとともにしさに加え、機能性を持ち合わせた上着の製作を可能とし、作業時間 | で仕上げる卓越とた技能を有する。さらに幾多の工夫を考案しで仕上げる卓越とた技能を有する。さらに幾多の工夫を考案し崩れしない、着やすい洋服作りを心がけ、上衿のわたりの纏り注文紳士服作り一筋六五年にわたり研鑽に励み、優れた技能を | は、静岡県代表選手を指導して、自身を含めて二大会連続で第一位達し、後進技能者の育成に尽力している。第二九回技能グランプリ | 、人の体型に合わせる技能は群を抜く。講習会では作の技能に卓越している。型紙製作においては一皿紳士服製作に長年従事して培った高い技能を有して | を広く伝え、洋裁文化の普及と発展に貢献している。大会入賞選手を輩出し、体験教室や小学校の授業でものづくりの素晴くることができる。また、後進技能者の育成に積極的に取り組み、技 | せて裁断、縫製し、皿単位の狂いもない立体る。顧客の身体的特徴を正確に平面に作図し婦人子供服仕立職に長年従事し、採寸・作図 | 業界発展のため後進の指導・育成にあたっている。業界発展のため後進の指導・育成にあたっている。現在も洋服店を営業のでは、第一のでは、第 | 開発した「高合わせのしいゴージラインと、複雑で不均等な縞柄や | も尽力している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ット布地と異素材を縫製する技能の考案により、同布地の用途を広げ業い衿付け仕上げにおいて高度で繊細な技能を有している。さらに、ベル洋裁に長年従事し、透けて見える極薄の素材や伸縮性素材の縫製、段差 | 食が糸の木 | 支能为責の既要 |

| | 68 | | | 6 | 7 | | 東 | | 番片 | 크- プ |
|----------------------------------|--|--|--|---|--|---|--------|---------|-----------|---------|
| 団体連合会 | 社 団 | 和服仕立職 | 福岡県 | | | 和服仕立職 | 推薦団体名等 | | | 職種名 |
| (七十二歳) | 加藤靜子 | かとうしずこ | (八十歳) | 不 | | しらいし えいこ | (年齢) | 年 | 4 | ふりがな |
| 千葉県 | | 藤工房和裁学院 | 福岡県 | | | 白石和裁研究所 | 就業地 | | | 所属名 |
| 。2.自ら身外したお前者役組者に指導・育房し、美界への写編に力で | 目っ開発して支柱と後継者に言算しず及し、 巻早への力責はてごり研鑽を積んだ作品は、そのデザイン、センスとともに高く評価され共布の細いループで作った花柄や格子などの造形を模様とするなど、 | 縫いで接ぎ合わせ、ベースとなる無地の大島の布地に切り嵌めて模様切り嵌めや切り接ぎの技能に卓越し、柄の大島紬を五㎝角に切り取り | 練指導員などを務め、技能継承・後進の育成にも尽力している決を考案するだと、業界の発展に寄与するとともは、お前検定 | 出てら友芸(きぎ)のなど、美見の影髪におより、このに、友記食、折り畳みながら仕立てる事により、解けば、裁ち目の無い反物に戻 | 感のあるものに仕上げることができる。また、子供用着物を全く裁断せ「それ」のように | りを逆来の四分の一まで咸らすことこより、夏用簙匆コートを全ての縫い代を極限まで少なくする「巻き縫い」の技法を用い、 | | Ŕ | も カ 青 つ 既 | |

| , | 73 | 7 | 2 | 7 | '1 | , | 70 | 6 | 59 | 整理 | 番号 |
|--|---|--|--|---|---|--|---|--|--|---------------|------------------|
| 熊本県 | 型枠大工 | 静岡県 | 建築大工 | 岐 阜 県 | 建築大工 | 石川県 | 宫 大 工 | 福島県 | 建築とび工 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 職 種 名 |
| (六十一歳 | 坊野 政典 | (七十六歳 | お い は し み ち や す | (七十六歳 | キ コ | (六十五歳 | 左 田 秀 告 | (七十四歳 | 女 田 を い こうし | | 毛 り が な |
| 熊本県 | (有)坊野建設 | 静岡県 | 高橋工務店 | 岐阜県 | いぐち・建築工房 | 石川県 | 佐田建築 | 福島県 | (有)成幸建設 | 就業地 | 所 属 名 |
| など、後進技能士の育成にも尽力している。また、積極的に後進の指導にあたり、技能検定合格率を大幅にアップされ、高難度の様脂型格打がしコンクリートの美しい大鳥居を完成され、 | ≣ に、 5.4€これで、氏の居の立替工事において、氏のの建物の型枠を完成してきた.型枠大工として四○年余、図 | 高 を 本し、後継者の育成に尽力し、自身が持つ技 静岡県木造建築工業組合の理事長として組合及び る。 | 形立り原ナ図り乍伐を、保存修理に匠の技を組み工法の住宅を主体重越した技能を持って | 後進の育成や業界の発展にも大きく貢献している。 景観の保護にも貢献した。青年技能競技大会出場者の技能指導を行ュアルを作成し建築物の保存に貢献。「高山市景観デザイン賞」の | など全国的に高い評価を得ている。また、高山市伝、社寺建築等の伝統的な木造建物の建築技能に優れ在来建築工法(全行程を自ら行う)大工の一人。入 | 極的に指導を行うなど後継者育成にも貢献している。において優れた技能を有している。また、若手建築大工の技能向上のにおいて優れた技能を有している。また、若手建築大工の技能向上の | する裝飾影刻や懸魚製乍、申灶本酘や寺院本堂などの室根、小屋組、诐虱の統的工法においても高度な知識・技能を有している。特に精密な手加工を要補社仏閣の建築彫刻において卓越した技能を有しており、また、様々な伝 | 指導・育成を精力的に行っている。お一では、若鳶会の役員として寺建物の曳家の技能に卓越している。地元では、若鳶会の役員としてプで生じる捻れを解消する治具を新たに考案するなど、歴史的価値の | 工)の技能に優れている。文化財である文殊堂の揚前など現場の第一線で、技能の研鑽、研究に努め、特に長年とび業に従事し、足場組立工事、建築物の解体・ | 食が糸の木 | 支 能 为 責 の 既 要 |

| | 74 | | 生 | 色理 | 番号 | 롸 |
|------------------------------------|--|---|--------|-----------|---------|-------|
| 般 | | 建築大工 | 推薦団体名等 | | | 職種名 |
| (七十一歳) | 剱 持 猛 雄 | けんもちたけお | (年齢) | E A | | ふりがな |
| 山形県 | | 番匠 剱持工務店 | 就業地 | | | 所 属 名 |
| る。 けや加工を担当。公共建築物の木質化工事の先駆的な取り組みに貢献 | 『町立東郷小学校の大型木造校舎新築工事では、棟梁として多くの全国各地でその技能を遺憾なく発揮し、高い評価を得ている。ま「『プログラー・プライン トライン アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 対計る耐力が高く、木を且しで乍ることが打や金勿を走っない反貪冓去の文化財建造物の修復や一般住宅の建築等を手掛けてきた。中でも、半世紀以上、建築大工職人として日本古来の伝統構法を研究・実践し、 | | 育 玉 糸 の 相 | 支も力責の既要 | |

| | 79 | 7 | 8 | 7 | 77 | 7 | 76 | 7 | '5 | 整理 | 番号 |
|---|---|--|--|--|---|---|--|---|---|---------------|-------------|
| 愛知県 | かわらふきエ | 岐阜県 | かわらふき工 | 福井県 | 建築板金工 | 石川県 | 建築板金工 | 神奈川県 | 左官 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 職 種 名 |
| (六十歳) | 機 貝 喜 代 広いそがい きょひろ | (五十六歳) | 日 ら た し ん | (六十八歳 | たてまつえいじ | (七十歳 | うちおたかお | - 1111 (七十四歳 | 三 上 或 可 | | そ り が な |
| 愛知県 | 磯喜屋根工事 | 岐阜県 | (有)平田屋根工事 | 福井県 | (有)立松ダクト工業 | 石川県 | 内尾建築板金 | 神奈川県 | (株)三上工業 | 就業地 | 所 属 名 |
| る。 業の技法等を纏めた図式要領本を配布し、技能の平準化と向上に貢献し業の技法等を纏めた図式要領本を配布し、技能の平準化と向上に貢献します。 | とうぎ、、三角いのきと、1つののでで見している。そのに、1つののでであるを並べる際に糸を素早く張るための治具や再利用可能なアルミ製の定規して、文化財を含む城郭・社寺等の屋根工事を数多く手掛けるとともに、かの良さと堅固さを引き立たせる卓越した技能を有している。その技能を活かの良さと堅固さを引き立たせる卓越した技能を有している。その技能を活か古くから日本の住宅で使われている本葺き瓦により、長年保たれる建築物 | め製作し、重量のある露盤を正確に設置す他、勾配と場所によって異なる瓦断面の特 | Fは毎にが急交としる。たは、貴長の長しさと長見できる支為、多岐にわたる知識が求められ、天災の影響を受けやすくた実績を持つ。瓦屋根は、その時代や宗派・教派により、そ長年にわたり研鑽を重ね、寺社・仏閣など文化財建造物の修 | 育成にも大いに寄与している。 電業訓練校の校長、建築板金の技能検定委員を務めるなど後継者の指拠業訓練校の校長、建築板金の技能検定委員を務めるなど後継者の指 | 唯一の職人である。この技能により風の流れをスムーズにするこ殊な排気ダクトを製作できる者は、全国的にも稀有な存在であり五枚~八枚の鉄板を使用し、ピッツバーグハゼ加工を用いた手作 | の技能向上に貢献している。の技能向上に貢献している。ともに、各種講習会で実技指導を行うにおいて長年講師を務めるとともに、各種講習会で実技指導を行う手紙工で仕上げる鉛鬼技能に卓越した技能を有している。また、職 | る。特に屋根の突端に付ける鬼面の形をした鉛瓦を金属鉛の性質を利用しなはなく鉛板で屋根を葺く伝統的な技法である鉛瓦葺き技能の第一人者であ建築板金工として長年従事し、歴史的建造物の復元修復における窯業瓦で | めながら、現在も職長として活躍している。 の生き方も指導し、後進の指導育成に努めている。そうして技奈川県の更生保護施設から入所者を受け入れ、技を磨くだけで | 有形文化財の神社仏閣の補修工事などを手掛けてきた。てきた左官技能者である。これまで「小田原城櫓門」の復七年間従事し、日本古来の伝統工法の漆喰仕上で卓越した | É S | 支能力責の既要 |

| 8 | 32 | 8 | 31 | 8 | 30 | 整理 | 番号 |
|---|---|---|---|--|--|---------------|------------------|
| 組合連合会 | 建築板金工 | 大分県 | れ ん が 積 工 | 大阪府 | 左官 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 職 種 名 |
| (七十歳 | 也 田 まさる | j j | エをうこうじ | (五十六歳 | 中 田 エ まさおき | (年齢) | た り が な |
| 香川県 | (有)白木屋 | 大分県 | 大分製鐵所 大分製鐵所 | 大阪府 | 大阪支店 大阪支店 | 就業地 | 所属名 |
| には常に注力し、業界の発展に高く貢献している。合に秀でている。それらのノウハウを含む建築板金技能の伝承と後紀以上に及ぶ経験と研究から、経年変化と同様の效果を得るための | 能に基づく多くの実績をあげている。特に銅素材の緑青の色味表現では、大型建築物の施工や、寺社仏閣などにおける伝統的な銅板加工等、優れ建築板金業に長年にわたり従事し、優れた機能性と高い意匠性を兼ね備 | の課題である築炉工の養成にも尽力している。もに、「築炉技能検定」の検定補佐員として二〇年にわたり日本鉄鋼の実現に大きく寄与してきた。自身の技能を現場で若手に直接指導す | が発生しているかを診断できる技能)に卓越し、粗鋼一〇〇〇万t/年の高づちで叩きその反響音のわずかな違いから内部のどの耐火物にどの程度亀裂製鉄所における窯炉設備の点検診断に関する技能(炉の外側から検査用金 | など、現在も後進技能者の育成・指導に貢献している。など、現在も後進技能者の育成・指導に貢献している。なた、姫路城保存修理工事では若手技能者に直接技能の継承の高さにより、日本漆喰協会の優秀作品賞に輝くなど、その技能は群 | 守保存修理工事」では、古来の工法を再現、土交通大臣顕彰(建設マスター)を受賞して多数の神社・仏閣の補修実績が高く評価され | 育が多くの。 | 支管为責の悪夢 |

| | 86 |) | | 8 | 5 | | | 8 | 4 | | 虫 | | 番号 | 7 |
|---|--|--|-------------------------|---|--|--|--------|---|---|--|---------------|----------------------|-----------|------------------|
| 京都府 | | 造園工等 | 石川県 | | | 造園工等 | 富山県 | | | 造園工等 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | | | 職 種 名 |
| (六十六歳) | 久 保 義 信 | ぼよしの | (七十七歳) | A 注 | Z ₁ | やまなよういち | (六十九歳) | · 5 | 라 | むね か げ あ き ら | (年齢) | 年 | | ふ り が な |
| 京都府 | | 久保造園 | 石川県 | | | (株)山名造園 | 富山県 | | | 宗景造園 | 就業地 | | | 所 属 名 |
| 坐立の世界に誘うと同時に「現代的な建築とも調和する見事な作品となっいる。 | ていたところ・こうをこく 見なりにきにい切りていますによったないとところ こうしょ こうしょ こうしゅう とうしょ しんしん でんしん しんかい イイコン ダール しんかん 原原権 反いをがった かんしん かんしん かんしん |)石(せき)を中心として色園構成こ憂れ、ンプルな樹木との組合せ・構成美を特徴とす自然石と加工された石材との調和を図りつつ | 与している。 与している。 | 1000年に口伐ここ) 600年前 2011年の 100年に、 100年度による 100年度に 100年度 100年に 100年度 | を用いた石肌の風合いを活かしながら面を一様に揃える石積み技法「野面積の不積み工事におりて江戸眼代初期の废園を復元した。株に北元産の戸室石 | 古墳は二郎において正可持て別別の昼園で頂立して。 特に也に至り可至造園に関する豊富な知識と高度な技能を有しており、 金沢城玉泉院丸庭 | 選手の金賞受 | なだが、 *** *** *** *** *** **** **** **** * | - 氏独自の造園様式は、顧客のみならず多くの同業者から高く評価された - 野村と野竹的な生活権式を顧合しが景観ですりでそれ。打貨に関すてい | 室敷木と見弋杓な主舌篆弌を触合して景閲づくりを瑄園業に長年従事し、特に、富山県砺波地区のカイ | | 打 育 孚 翁 <i>O</i> 相 要 | 臣 力 責 つ 既 | |

| | 9 | 1 | 9 | 00 | | 88 | 9 | | 88 | | | 87 | | 整 | 理 | 番号 |
|---|---------|--|---|---|------------|---------------------------------|--|--|--|--|-------------------|----------------------------------|--|--------|-------------|-----|
| 静岡県 | | 石彫工 | 山梨県 | すずり製作工 | 福井県 | | 成形工成形工 | 福井県 | | ろくろ成形工 | 福島県 | | 石積工 | 推薦団体名等 | | 職種名 |
| (七十歳) | 村 田 善 彦 | ら た よ し ひ | (六十七歳 | 同 宮 E 美あめみや まさみ | (六十三歳) | Name | しだとみ | (七十歳) | 司 辻 光 男 | かさつじみつお | (七十三歳) | 宗像良三 | むなかた りょうぞう | (年齢) | 氏名 | りが |
| 静岡県 | | (有)村田石材工業 | 山梨県 | 峯 硯堂 本舗 | 福井県 | | 北川鬼瓦製作所 | 福井県 | | 光窯 | 福島県 | | 丸良石材店 | 就業地 | | 所属名 |
| 事を務める他、技能検定委員としても長年業界に貢献している。事を務める他、技能検定委員としても長年業界に貢献している。また、全国石材技能士会、静岡県石工技能士会、全技連マイスター会の理 | | 技能は、多くの人々に支持され、同時に業界においても高い評価を得ていを持つ地蔵など、石の持つ魅力を生かす技法が随所に表れた作品を彫刻する 石材製品の製造に長年従事し、寺院・神社における石造物や、豊かな表情 | として、生涯学習への協力にも貢献している。この技術の第一人者として、また、地元の小中学生の学習指導や地域雨畑硯の立体整形の技能の習得は、三〇年以上の期間が必要である。 | 原料である雨畑石は、「鑿づかを肩にあてて、から伝わる甲州雨畑硯から伝わる甲州雨畑硯 | を多数手掛けている。 | 、日本画の名作等を鬼瓦で表現するなど熟練の技を発揮している。京 | り入れるとともに、過去の鬼瓦にはであり、従来の鬼瓦の製法に加えて古の鬼瓦流派「立川流」を正統に受古の鬼瓦流派「立川流」を正統に受 | いる。 美術や日展に多くの入選者を輩出するなど後継者育成にも積極的に貢 | など新商品開発にも積極的に取り組むとともに、若手窯元等を指導し、現代に大きく貢献してきた。また、越前焼の特徴を活かしたコーヒードリッパー | 虫喰手」と呼ばれる他に類を見ない独創的な手法を考案し、越前焼振常のろくろ成形を一部改良した、熟練した高度な技能と知識を必要と | 周知・広報にも大きく貢献している。 | 業で優れた技能を有している。また字彫り作業については、最後の仕上 | 彫り技能に卓越している。石張り作業の仕上がりの良さに高い評価を得長年石材業に従事し、石材加工全般の技能に優れており、特に、石張り | | 技能 功績 の 概 要 | |

| | 94 | | | 9 | 3 | | | 9 | 2 | | 東 | | 番号 | <u>1</u> . |
|---|------|--|---|--|--|--|--|---|--|--------------------------------------|---------------|----------------------|-----------|------------------|
| 佐賀県 | | 陶磁器画工 | 佐賀県 | | | ろくろ成形工 | 京都府 | | | 陶磁器画工 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | | | 職 種 名 |
| (六十五歳) | 市川龍男 | い ち か わ た つ お | (七十歳) | 抱 | 大 | おおぐし そうじろう | (六十七歳) | 力 萠 É 沙 | 秦 | かとうしろじ | (年齢) | 日 | | ふ り が な |
| 佐賀県 | | 龍仙窯 | 佐賀県 | | | 惣次郎窯 | 京都府 | | | 雲泉窯 | 就業地 | | | 所 属 名 |
| 年者の啓発等に努めている。年者の啓発等に努めている。年者の啓発等に努めている。 | | 絵付師として活躍している。また、鍋島焼の技能を未来に残すため、新陶磁器の下絵付けの線書、濃みの技能の第一人者であり、鍋島焼を代表 | 進に積極的に貢献している。 進に積極的に貢献している。 集件実演を行う等、技能総序 | えこめ 11 g;;っぱ、万揚! 〒戸ぎご 型三芝漬ご丁っ芽、皮毛継なた。また、高等学校等において、手ろくろ作業の指導者を努め、後継者 | 飾を可能とし、意匠の幅を広げ、また安定した焼成結果を得ることを実施を可能とし、意匠の幅を広げ、また安定した焼成結果を得ることを実施しませ | 対芯できる熟康した支能を有し、時こフインカ有田焼製造における手ろくろ作業に長年従事し | 駆使している。 駆使している。 「食物な味おいを残す「打ち込み」と言われる高度な | これにより こうこう こう 「「」 こう こうしょ こうしゅ 引きなる作品を創造している。成形においては、ろくろ成形後、半乾き状態 | 手・釉裏金彩を同時に使う新技法を作り上げ、現代的に洗練された意料作により、ドーラ炸ーデフ炸の『希』林才代新技術で興作し、年に | 寸こおハては、京尭・青水尭ひ多重多策、ろくろ成形の双方に優れた技能を持つ | | 打 育 孚 翁 <i>O</i> 相 要 | も カ 責 つ 既 | |

| | 99 | 98 | 3 | Ç |)7 | Ć | 96 | Ĝ |)5 | 整理 | 番号 |
|--|--|--|--|---|---|--|---|-------|--|--------|------------------|
| 岐阜県 | 紙手すき工 | 福井県 | 研磨用炭製造工 | 秋田県 | 木材製品処理工 | 秋田県 | 指物職 | 岩手県 | 機械木工 | 推薦団体名等 | 職 種 名 |
| (八十一歳 | 柏木一枝 | 木 戸 口 武 夫 (五十八歳) | どぐちたけ | (六十八歳 | 畐 中 E 人 | (六十七歳 | 左 篆 关 夫 さ き お | (七十歳) | 左 ヤ 木 米 蔵ささき よねぞう | | 氏 り が な |
| 岐阜県 | 自営 | 福井県 | 名田庄総合木炭 | 秋田県 | 自営 | 秋田県 | 工房咲 | 岩手県 | 佐々木工芸 | 就業地 | 所 属 名 |
| 産を行っている。 上、伝統的な手法を守りながら、原料の栽培から紙漉きまで一貫した和上、伝統的な手法を守りながら、原料の栽培から紙漉きまで一貫した和 | め、主室者は敷域し、見玍受け継いでいるのは二年のみである。長は五〇年に九〇軒ほどの生産者がいたが、原料採取から漉き工程まで全て手作業のた漂白するという手法で生産されている。かつては農家の冬仕事として河合村 山中和紙は鎌倉時代より生産され、原料の楮(こうぞ)を雪晒しによって | 継者育成にも努めている。 学会により、林業遺産に認定された。研磨用炭窯を使用し炭技術を継承し、独自に研究・研鑽を重ねている。平成二 | 種があり、原木・製炭方法・研磨用途は全て異なる。氏は日本で唯一こ業界でも広く用いられている。研磨炭には駿河炭・朴炭・呂色炭・椿炭研磨炭は日本の伝統工芸である漆工芸・金属工芸の研磨に不可欠であり | 献している。 会年伝統工芸士に認定されるなど、後進の指導育成及び技能伝承に大合年伝統工芸士に認定されるなど、後進の指導育成及び技能伝承に大る作品のスタイルは、後進の指針となっている。また、師事した若手 | 融合し、常に新しい作品に挑戦する進取の気質は衰えることなく製法を継承している唯一の職人である。また、伝統的な技能と新伝統工芸樺細工の製作者として技能の研鑽に励み、「型もの」で | るなど、木工の技能伝承及び魅力発信にも貢献している。て後進の指導育成にも承及び魅力発信にも貢献している。 | を融合した所とな製品を是案し売けている。また、、「木象嵌」「寄木細工」「挽き曲げ」等の伝統技木の素材を熟知し素材を生かす技能に卓越しており | を持ち、 | こ憂れており、な質者からのニーズこ合かした流線型のデザインや木目・光沢をの製作に優れた知識・技能を有している長年にわたり洋野町の特産品「大野木工 | 食が糸の木 | 支指为責の既要 |

| | 102 | | | 10 | 01 | | | 10 | 00 | | 虫 | 8理 | 番号 | <u>1.</u> 7 |
|--------------------------------|--|---|------------------------------|---|--|----------------------------------|--|--|--|--|--------|----------------------|-----------|------------------|
| 香川県 | | 竹彫工 | 静岡県 | | 居 | 大影工 | 静岡県 | | | 木製建具製造口 | 推薦団体名等 | 3 | | 職種名 |
| (七十五歳) | 西村文男 | にしむら ふみお | (六十六歳) | 萠 | 开 秦 宣 青 | いとうふみはる | (六十八歳) | 体 沙 才 声言 | X X | さじもとたけし | (年齢) | 年 | | ふ り が な |
| 香川県 | | 西村工芸 | 静岡県 | | 月 重日 フ 居 芝 | 尹藤章青木彫刻工房 | 静岡県 | | | 佐次本木工 | 就業地 | | | 所 属 名 |
| 竹一刀彫の技能の伝承に努める他、その活動は全国各地に及んでい | 」や毎年開催される「香川の伝統的工芸品展」等での後世に継承するため日々技能の向上に励むだけでなく活力した済道』「黄道』「昼面装蝕占等の制作に長年 | それど舌いった茶道具、産道具、産軍支布品等り制作こ長耳逆事って日本では唯一の竹一刀彫工芸家であり、古来からの竹彫りの技法を蘇ら口本では唯一の竹一刀彫工芸家であり、古来からの竹彫りの技法を蘇ら | 工房や展示会を通じて後進の指た。諸岡県内のみならず地域伝 | ミニ、角間県内のみない。也な云笠にこの地なこの所みでいること能は多くの関係者からの評価が高い。 | 像力により描かれた図案を豪華さと繊細さを兼ね備えた彫刻として表現するで迫力のある優れた彫刻技能を有する。依頼主から題材だけを聞き、氏の想 | 木彫工として四六年間祭り屋台の製作を通じて技能の研鑽に努め、立体 | 成果を出している。 成果を出している。 が現まの指導、育成に尽力し、技能クランプリで第一位に | のに、発生を注すり背算にできます。 ひまず アンプログラン 紅手が交互になる本捻組を両面取りで仕上げる高度な技能も有している | ど葉物をデザインし絵画のように仕上げる技能に優れている。また、相繁作にすい「商糸糸二糸二の三)糸み三を片糸として、「ロラオを凩の | 製作こおいて高級組子冊工の三つ組み手を地組とし、水製建具製作の中でも主に伝統建具製作に力を入れ、 | | 打 育 孚 絲 <i>〇</i> 棚 孯 | 臣 力 責 つ 既 | |

| 1 | 07 | 1 | 06 | 1 | .05 | | 104 | | 103 | 整理 | 1番号 |
|---|--|--|--|---|---------------------------|--|---|--------|--|---------|---------|
| 全日本洋菓子 | 洋生菓子製造工パン・焼菓子製造工 | 鹿児島県 | 杜氏 | 京都府 | 湯葉製造工 | 京都府 | 和干菓子製造工 | 宮城県 | 味そ製造工 | 推薦団体名等・ | 職 種 名 |
| ALPHONSE (七十五歳) | BIGOT PHILIPPE CAMILLE がご・ふぃりっぷ・かみー | (六十五歳 | 安 田 宣 入やすだ のぶひさ | (八十四歳 | 浅野 富三かさのとみぞう | (七十二歳) | 高 家 昌 昭 | (五十八歳) | 阿 部 信 之 | | まりがな |
| 兵庫県 | (有)ビゴ | 鹿児島県 | 国分酒造(株) | 京都府 | 湯波半 | 京都府 | (株)塩芳軒 | 宮城県 | 玉松味噌醬油(株) | 就業地 | 所属名 |
| える弟子を育て、フランスパン用小麦粉の開発にも貢献した。最上の状態に仕上げる卓越した技能を有している。これまでに一五〇 | れるまでになる。パ尽力。全国にフラン昭和四○年に来日し | 関する技能の伝承に取り組むなど、後進の指導・育成に貢献していの製法に囚われない芋焼酎の開発に取り組んでいる。また、研究会と二次醪の長期醗酵という大正時代の手法を再現した芋焼酎の開発 | 立し、芋麹による芋一〇〇%焼酎を開発したほか、製麹に三昼夜かける「老る。蒸した芋に直接種麹を付けて発酵させる固体発酵による芋麹の製法を確芋焼酎製造に長年従事し培った技能を有し、特に製麹技能に卓越してい | 後進の範となっている。 後進の範となっている。 高度に習熟した者にしかできない技能 | る。 長年にわたり九代目当主として享保元年の創業以 | 学等において講師を務め、技能伝承において重要な役割を担っているに不可りた後頭子であり、技能伝承において重要な役割を担っている | 邪ごよ下可てな即真子ごら)、そよ貴重な担い長ごらる。全国の支所舞習会比肩する者のない技能・知識を有する。有平糖は茶道と共に発展し、特に京内外で高い評価を得ており、南蛮菓子の一つである有平糖の製造に於いては長年京菓子作りに従事、京菓子全般、特に干菓子に精通し、その技能は国 | | 振興に大きく貢献した。また、後進の育成にも熱心に取り組んでおり、伝統使った新たな酵母開発や発酵技術を用いた米糀加工品の商品化を行い、地域行ってきた。中でも、特に製粷に関する技能に卓越しており、地元特産品を四〇年にわたり味そ製造業に従事し、独創的な味そ・醤油の商品開発を | Ť Ž | 支能力責の既要 |

第14部門

| | 109 | | | 10 | 80 | | 東 | | 番号 | ⊒ . |
|---|--|--|--------------------------------|--|---|--|--------|----------|----|-------------|
| 般 | | 杜氏 | 般 | | コレート製造工 | 洋生菓子製造工ン・焼菓子製造 | 推薦団体名等 | | | 職 種 名 |
| (六十九歳) | 松 本 年 正 | まつもと としただ | (七十歳) | E | | しまだすすむ | (年齢) | 齢 | | ふりがな |
| 島根県 | | 簸上清酒(名) | 東京都 | | | (有)パテイシエ・シマ | 就業地 | | | 所属名 |
| - A がと優才だ指導力で、島根県・鳥取県をはじめとする地域の後進への人材と優才だ指導力で、島根県・鳥取県をはじめとする地域の後進への | は、所に憂しに言算りで、易艮具、身文具とはごうに、方也なりを焦くりう出雲杜氏組合では平成二五年より組合長として、酒造技能向上のため、誠実能者の証である出雲杜氏自醸酒品評会最優秀賞を七回受賞している。また、 | め精進した。全国新酒鑑評会において金賞を七回、出雲杜氏組合最高の酒造業に従事し五一年、杜氏として二一年間の長きにわたり技能の研鑚 | して全国の学生の指導にあたる等後進の育成と業界の発展に尽力し | して、全国の洋菓子コンクール等で審査員を務め製菓学校・調理師学院の1978年の197 | ランスより豊事力労働章を受みされた。また、日本を代長するペテインレット・デロワに改良を加え、日本国内での洋菓子店で販売を可能とし、 | 、クレームアンジュ等の新商品を考案するとともに、クレーフランス菓子の日本市場向け製造開発技能に卓越しており、 | | 自 | 旡 | |

| | 114 | 11 | 13 | 1 | 12 | 1 | 11 | 1 | 10 | 整理 | 1番号 |
|--|---|-----------------------------------|--|---|----------------------|--|---|---|--------------------|---------------|------------------|
| 全国 理 | 理容師 | 愛媛県 | 理容師 | 愛知県 | 美容師 | 愛知県 | 理容師 | 東京都 | 衣装着付師 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 職 種 名 |
| (五十三歳) | 白 川 丈晴 | (六十九歳) | お も り と し | (七十九歲 | 乾 | (六十五歳 | 上 うえの かずひこ | (七十九歳 | か 大 川 子 | | 毛 り が な |
| 埼玉県 | ヘアーサロン・シラカワ | 愛媛県 | 理容宇宙 | 愛知県 | サロンドマリヤ | 愛知県 | サン・ヘアー中部 | 東京都 | トミー美容室 | 就業地 | 所 属 名 |
| 献している。 一般では、「は、」では、」では、「は、」では、」では、「は、」では、」では、「は、」では、」では、「は、」では、」では、「は、」では、」では、「は、」では、」では、「は、」では、」では、」では、「は、」では、」では、「は、」では、」では、」では、」では、「は、」では、」では、」では、」では、」では、」では、」では、」では、」では、」で | を有している。また、優れた技能と世界大会入賞の経験を活かし、理容業界アデザインを創作し、ヘアスタイルのバリエーションを広げる卓越した技能トレンドを取り入れたファッション性を融合させ、創造性に富んだ新しいヘー 多様化・複雑化する顧客のニーズに応えるため、理容の基本技術に最新の | 価を得ている。 国内の後継者育成にも精ると共に、毎年高校等で | 大会で金メダルを獲得する等、国内外で評価されている。また、日本の々研鑚に励み高い技能を有している。その技能は、世界理容美容技術選生涯現役を座右の銘として、開業以来五〇年を超えて理容業に従事し、 | 水準向上及び優れた後進美容師の育成に尽力している。水準向上及び優れた後進美容師の育成に尽力している。というで表に基づいた技能をもって各地で後進の指導を行い、美容界経験と知識によって、当年では、日本には、 | 的こ売ける一、越しており、美容師として、 | く貢献している。 く貢献している。 ともに、理容店の活性化と消費者への拡充に尽力し、理容業界の発展に界各国で行われたヘアーショーで発表する他、後進の技能者に指導を行 | ペ」を研究開発し、「心のケア」を続けている。また、創作へアスタイルをで頭髪の一部を失い後遺症に悩む人達の医療用かつら「機能回復訓練用ツー理容師・理学博士として培った技能・知識を活かして、やけどや事故など | 校や美容技術団体での着付技術指導や人材育成にも尽力している。と社会的地位の向上に貢献し、多くの功績を残している。さらには、 | ており、着付を通じ帯結びの創作・発表 | 食が糸の木 | 支能为責の既要 |

第15部門

| | 115 | 5 | | 惠 | | 番片 | 큵. |
|------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|---------------|----------------------|--|------------------|
| 生活衛生同業 | 日本美容 | | 美容師 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 5 | | 職 種 名 |
| (六十歳) | 沖中幸子 | t | おきなか さちこ | (年齢) | E 4 | | ふ り が な |
| 北海道 | | | 美容室クレア | 就業地 | | | 所属名 |
| し、優秀な人材の育成にも大いに貢献している。 | ている。さらに、若手技能者、学生をコンクール入賞に導くなど指導力を発-を行うとともに、独自の理論・技法により多様化する消費者ニーズに対応し- | 発表を行い、その高度なテクニックを伝承するため、各地で普及講習活 | 幅広い技能と知識により、数々の感性に富んだ進歩的なヘアスタイルの | | 打 育 平 翁 の 楜 要 | も ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | |

| | 120 | | | 119 | | | 11 | 18 | | 117 | | | 116 | ; | 整 | 这理社 | 番号 |
|------------------|---|--|-----------|--|--|-------------------------|---|--|-----------------------------|---|---|------------------------------------|--|--|--------|-------------|-----|
| 大阪府 | | 日本料理調理人 | 京都府 | | 中華料理調理人 | 愛知県 | | 日本料理調理人 | 東京都 | | ソムリエ | 千葉県 | | 日本料理調理人 | 推薦団体名等 | | 職種名 |
| (五十八歳) | 茅ヶ追正治 | かやがさこ まさはる | (六十八歳) | 田口茂雄 | たぐちしげお | (六十二歳) | 古 田 彦 男 | 日だしげげ | (三十九歳) | 森 | もりさとる | (六十三歳) | 渡邊三郎 | わたなべ さぶろう | (年齢) | 氏 名 | りが |
| 大阪府 | | シェラトン都ホテル大阪 | 京都府 | | (中国料理 華祥) (株)華祥企画 | 愛知県 | | 京風料理与し田 | 東京都 | | コンラッド東京 | 千葉県 | | 満ちてくる心の宿 吉夢(株)ニュー 小湊ホテル | 就業地 | | 所属名 |
| の育成にも大きく貢献をしている。 | して和食を提供し、『ユネスコ無形文化遺産・和食』を世界に発信を考案した。「伊勢志摩サミット」では、世界の要人に日本料理の作え」・『『『神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神 | 「臣喪石」、「真田卸善」などの削乍こ加え、ムスリム客への「ヘラレヤなど、卓越した調理技能を有している。また、食都大阪の伝統を蘇えらせた伝統的な庖丁道山蔭流を継承しつつ、氏独自の器具の活用方法を考案する | 成に貢献してきた。 | 保ちつつ、後進の料理人の模範となる新技触感を最大限に引き出す調理法の研鑽に努 | その土地の食材や提供する顧客に合わせた工夫を施す。特に、京野年の経験から、中国料理の多種多様な調理法に精通しているだけで | 導にも尽力し、後進技能者の育成に貢献している。 | 練技能者として、ものづくり体験教室で指導する他、技能五輪の選手おり、その優才だお前を勇揖している。 地域社会では、小学校・中学 | 「ごう)、こう憂しこ女になど『こころ。也女となぎょ、ハモ女・コモ女特産の伝統調味料を使って、伝承郷土料理に独自の技法を加え、地産地消に長年、日本料理の技法に研鑽を積み、特に愛知県の伝統野菜や川魚、愛知 | 師のほかソムリエコンクール審査員等を務め、後進の育成に | リスト等の実績を有し、ソムリエの第一人者として認められている優勝、第十三回A S I 世界最優秀ソムリエコンクールセミ | 優勝、第一回A.S.I.アジア・オセアニア最優秀ソムソムリエの専門知識・技能に優れ、第五回全日本最優秀ソム | ・育成と技能伝承にも尽力している。・育成と技能伝承にも尽力している。 | こす犬、、「)を含くするほどで、それで、それで、それで、それで、それで、それで、それで、それで、それで、それ | きのまりほどの風さごにまうとせいさすせて有し、格調高い会席料理を提供するとともに日本料理の基本と伝統に忠実でありながらも | | 技能 功績 の 概 要 | |

| | 125 | | | 124 | | | 12 | 23 | | 122 | | | 121 | | 虫 | 2理 | 番号 |
|--|---------------|----------|---------|--|---|---|---|---|---------------------------------|-------------------|--|---------------------|--|---|--------|-------------|-----|
| 日本協国民 | 人人 | 中華料理調理人 | 日本料理研究会 | | 日本料理調理人 | 山口県 | | 日本料理調理人 | 兵庫県 | | 飲食物給仕人 | 大阪府 | | 西洋料理調理人 | 推薦団体名等 | | 職種名 |
| (六十四歳) | 鈴 木 長 次- | すずき ちょうじ | (五十五歳) | 富澤浩二 | とみさわ ひろかず | (六十六歳) | 新 | しうみさだ | (五十八歳) | · | ひやまかずし | (六十三歳) | 久 松 幸 彦 - | ひゃまつ ゃゃひこ | (年齢) | 氏 名 | りが |
| 愛知県 | | (株)シャインズ | 東京都 | | 日本料理よし邑 | 山口県 | | 割烹旅館豊後の里 | 兵庫県 |) 3 | 申言 ハーバーラ/ドホテル・ラ・スイート (株)ラスイート | 大阪府 | | (株)近鉄・都ホテルズ | 就業地 | | 所属名 |
| 技能者の育成並びに試験制度の普及発展に貢献している。技能者の育成並びに試験制度の普及発展に貢献している。 | 也ま真げ、 f た空 | | 余念がない。 | 毎外でも高い評価を得ている。加えて、各幾関を通じての後進の指尊育成にた技能を有し、多くの功績を残している。その功績は国内に留まる事無く、技能に優れ「優れた美的感覚に基づく器使い」盛付を動的に表現する卓越し | 言に憂し、憂して受力ななでほう。 异豆() なけて切りてき起っる重弦多様な素材の活用と多彩な技法の応用による現代的な会席料理を創作す | がや、高校、短期大学等での指導など後進技能者の技能向上に尽力し である。 | とう、 500、短月できまで)前算さずで置えばかり 支毛目 ニュスリックなど日本料理の普及啓発にも努めている。 また、 技能五輪出場選 | さらにその技能を生かし「ミラノ国際万国博覧会」においてふぐの皿盛りを識を有し、特にふぐや鮃(ひらめ)の上身を使った包丁捌きに優れている。日本料理に三四年にわたり従事し、卓越した技能と食文化に関する深い見 | とした講習の指導者を務めるなど後輩の育成・指導に貢献している。 | のけー ビルー ビルー どんしょう | 費ころり、全日本メートレ・ド・テレ車星臣崔「育一団メートレ・ド・昭和五八年よりフレンチレストランの料飲接遇サービスに従事し、技能 | るなど後進の育成、指導に貢献している。 | 恪試験の技術審査や、城南女子短期大学の調理人養成学科の講師をフランス料理に仕上げる技能を有している。また、西洋料理の専門様々な食材を絹み合えせ地域や文化など物性は応じて雇客の嗜好に | く、後へはますと且と合った也及らてごなど特性にはどこ頃至り賃子素材の長所を引き立たせる調理技能に卓越している。 さらにその技能素材の長所を引き立たせる調理技能に卓越している。 さらにその技能 | | 技能 功績 の 概 要 | |

| | 13 | 0 | | 129 | | | 12 | 8 | | 127 | | | 126 | | 整 | 理 | 番号 |
|--|---|---|--------------------------|--|---|---------------------------------|--|-----------------------|---|--|---|---|---|--|--------|-------------|-------------|
| 一般 | | 西洋料理調理人 | 一般 | | 西洋料理調理人 | 一般 | | 日本料理調理人 | 一般 | | 日本料理調理人 | 一般 | | 日本料理調理人 | 推薦団体名等 | | 職 種 名 |
| (五十七歳) | 口 二 浩 | まぐちひろし | (六十八歳) | 田邉年男 | たなべとしお | (五十五歳) | 森 川 裕 之 | り か わ ひ み | (四十三歳) | 畑 地 久 満 | はたじ ひさみっ | (七十三歳) | 佐藤信 | さとう 歩こと | (年齢) | 氏 名 | りが |
| 兵庫県 | | レストラン「エ・オ」(株)神戸北野ホテルティ・エンタープライズエイチ・ワイ・ホスピタリエイチ・ワイ・ホスピタリ | 東京都 | | ヌキテパ | 京都府 | | (株)浜作 | 福井県 | | (資)開花亭 | 宮城県 | | 雪月花 利休庵精進茶懐石 | 就業地 | | 所属名 |
| として多くの後進技能者の指導・育成に貢献している。料理人顕彰制度受賞者として料理コンクールの審査委員や調理師学校 | 計型、質彩可変を質音にして計型エイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | でも認められている。また、全国料理コンクールこおいても多くの最優秀賞材を活かして調理する技能に卓越しており、その技能は国内はもとより世界長年の研鑽で身に付けたフランス料理の技法により、日本の四季折々の食 | 料理を創出し、世界的な注また、さらなる味の世界を | 性ある料理を提供している。の味わいを活かした新しい料理の世界を確立。現在も魚介を中心に独 | - 帰国後はフランス料理の技法と日本料理の魚の扱い方を融合させ、日本場フランスのミシュラン三ツ星レストランでフランス料理の技法を習 | ぜず」の精神でぶれることなく次の世代に日本の料理文化を伝えてい | 躍。プロの育成だけでなく、広く一般にも京料理の魅力を発信。「和汁を用いた料理文化を継承、日本料理の伝統を大切に守りながら第一 | | 成・指導にも貢献している。評価されている。この他、地元啓新高等学校調理科の講師を務め、評価されている。この他、地元啓新高等学校調理科の講師を務め、 | コンペテインヨン世界大会こおいて準憂券を果たすなど、その支能材の改良に努め、食材の付加価値向上にも尽力している。さらに、推している。すだ「地テ食材の呀を向」させるだめ、生産者とも協 | 置している。そこ、也正を付うまと可こさせるこう、三面音との場動現代人の嗜好にマッチした新たな和食料理を創作する等、卓越した技食の伝統技法を踏襲しつつ、フランス料理の三ツ星シェフらとも協働 | 献している。 新している。 「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで | ・西安で支術指導を守うなど、国内外で高い平価を受けている。また、天龍寺で精進料理の料理長を務めるな活播進料理の第一人者であり、中ででは、「新選挙を持つ、「新選挙を持つ、「新選挙を持つ、「新選挙を持つ、「 | 引き立て、季節感票う料理を乍る卓越した技能を有する。・感性を発揮している。旬の素材に必要以上に手を加えず四季折々の地元食材を活かした茶懐石料理の創作に優れた | | 技能 功績 の 栂 要 | |

|] | 135 | 13 | 34 | 1 | 33 | 1 | 32 | 13 | 31 | 整理 | 番号 |
|---|--------------------------|---|---|--|--|-------------------|--|---|--|---------|-------------|
| 三重県 | 写真工 | 富山県 | 室内装飾工 | 新潟県 | 表具師 | 神奈川県 | 表具師 | 埼玉県 | 畳工 | 推薦都道府県・ | 職 種 名 |
| (七十一歳 | 川 地 清 廣 | (六十五歳) | お き ゆき | (六十八歳 | たまき はるお | (七十歳 | 天 睪 秀 夫 や ざ わ ひ で お | E | 見 日 告 一 ち い ち | (年齢) | た り が な |
| 三重県 | (有)写真の川地 | 富山県 | インテリア・フクザキ | 新潟県 | 玉晴堂 玉木表具店 | 神奈川県 | 矢澤表具店 | 埼玉県 | 島田畳店 | 就業地 | 所 属 名 |
| している。 協会夏期写真大学講座等の講師を勤めるなど後進技能者の育成・指導関する技能に卓越している。日本を代表する肖像写真家として日本写 | 果店すなど、 人写真を証 かし新しい | 指導を行うなど、後進育成にも尽力している。 間資材の開発にも貢献している。さらに、技能グランプリ出場選手へと、新しい材料に合う接着剤の実用試験、市場調査、情報提供を行う | 評価を受けている。また、その経験・知識を活かしすき和紙を使った壁装施工の技能に優れ、その独特施工業に長年従事し、デコラティブフィルムの施工 | 講習会等での指導を通じて後継者への技能伝承に努めている。出場選手の強化訓練を担当し、上位入賞者を多数輩出するとともに、くきれいに仕上げる廻りすきの技能に卓越している。また、技能グラ | おいて、前工程で一番大事とされる下張り、骨紙張り、蓑張り姿に戻す洗濯作業に高度な技能を有している。また、大きな額古い作品で劣化した生地を少しずつ慎重に剥がし、洗濯、洗い | 能者の勉強会の指現在は、技能がラの | に美しく整えるために必要な、裂地の光沢を失わずに柄の通りを揃える裏打に美しく整えるために必要さる技能者である。また、掛軸装の仕上がりを更の技法を自ら行うことができる技能者である。また、掛軸装の仕上がりを 掛軸装などの表装技能に卓越しており、創作表装では平押、切り金、砂子 | じて小中学生にものづくりの楽しさを伝えている。となど、業界の技能の向上と継承に貢献するとともに、体験教室のとができる。また、埼玉県畳技能士会会長や技能検定の首席検定委 | 台や拝敷の製作において、畳の縁の紋の大きの製作に優れた技能を有している。特に有職般住宅向けの畳製作や、寺社仏閣で使用され | 育ぶ糸の相 | 支管为責の既要 |

| | 14 | 0 | 13 | 39 | | 138 | 1 | 37 | 1 | 36 | 整理 | 世番号 |
|--|--|---|---|--|---|--|---|-----------------------------------|--|---|--------|-------------|
| 一般 | | 木工塗装工 | 徳島県 | 染料製造工 | 大阪府 | 家具類内張工 | 京都府 | <u>畳</u> 工 | 京 都 府 | 表具師 | 推薦团体名等 | 職 種 名 |
| (六十八歳) | - 金 子 雅 - | ね - こ ま | (六十九歳 | 断 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | (七十六歳) | 兼井龍文 | (六十七歳 | 幾 垣 昇 | (七十二歳 | 部 でき あきら | | 氏 |
| 東京都 | | (有)精工塗装所 | 徳島県 | (有)新居製藍所 | 大阪府 | (有)インテリア三愛 | 京都府 | 磯垣タタミ | 京都府 | 岡崎清光堂 | 就業地 | 所 属 名 |
| 育成・指導にも貢献している。 施設の講師やものづくりマイスター、全技連マイスターとして後進 | 『東區投)構作のつうが、ファスター、全支重アスター・シア発生た塗装の補修・復元を行うことのできる第一人者である。また、公共、 | いく技能に優れている。また、現代の塗料を用いて蒔絵・螺鈿等の細工がさり、タンポ摺りで仕上げる伝統的な仕上げに新たな工夫を凝らして仕上げて明治時代に入ってきた欧米家具の補修・復元の技能に卓越し、特に刷毛塗 | り、広く阿波藍の普及に努めている。 承する一方で、県内外からの数多くの研修生の受け入れも積極的に行部分の生産量を担っている。また、伝統のすくも製造の工程を後継者 | よって徳島県内における藍の生産拡大に貢献しており造に従事し、堆肥を活用した品質の向上と、機械導入国選定保存技術に指定された阿波藍製造技術による「 | 手の技能士に伝承するなど、業界発展の為に尽力している。で高い評価を得た。また、後進の指導育成にも活躍し、優れた伝統技能 | 共司開発したLEDを引用した「光る奇子」は、フランスで開催された展示れており、豊かな国民生活の実現に貢献するものである。家具デザイナーとの医療・福祉機器開発に携わり、その製品は病院や福祉施設で幅広く使用さーサ世紀にわたり椅子張り作業に従事し、培った優秀な技能をもって、多く―――――――――――――――――――――――――――――――――――― | の開発も行っている。の開発も行っている。に対きいる。焼却時にダイオキシンが発生しない畳や、高齢者に使いやすいない技能者である他、これまで全国の多くの寺社等の有職畳修理を手 | 機そのものの製造、修理る。また、手織り畳の最伝統の製造方法により有 | 手掛けるなど高い技能を有し、伝統文化の保護に貢献している。汚れの除去、絵の具の剥落を修復する技能に優れ、美術品の作品修成の保護、一般では、一般では、 | 表具こ系わる福広ハ印識と支能を有する。 恃こ会画 国内の美術館や寺社等において古書画や絵画の状態 伊勢神宮の遷宮にあたり、過去二回、御神宝の「御覆 | ; ; | 技能 功績 の 概要 |

第18部門

| | 14 | 42 | | | 14 | 41 | | 東 | 整理番号 | | |
|--------------|--|---|--|---------------------------------|---|--|-----------------------------------|------|---------------|---|-------|
| 愛知県 | | | 製図工 | 静岡県 | | | 広告美術工 | 馬団は | 推薦団体名等推薦都道府県・ | | 職種名 |
| (六十二歳) | L | 量 山 | ふくやまたかし | (七十六歳) | F | 山田台車 | せんだ はるおき | (年齢) | 日 | 5 | ふりがな |
| 愛知県 | | | フクヤマデザイン | 静岡県 | | | (株)アンペン | 就業地 | 就業 | | 所 属 名 |
| 導・育成に貢献している。 | こう なごり育む コットの トラトごは昆也 こうりもご弁 いけやこく 「ものづくりマイスター」 の認定を受け、若年技能者を対象に機械製図 | た新規工法を考案し、多くの現場において活用されている。 国内に於いた新規工法を考案し、多くの現場において活用されている。 国村発展で育 | 。また、金型成形こ於いては辛った熟東支能に基づきる型設計分野の製図工として長年従事し、その技能は | ある。 大会で銀賞と銅賞のダブル入賞に導いている。 また | 四〇年以上の経験を後進の指導に惜しみなく継承し、第二九回技能グラミ計前を不している | 支宅を与している。 てきている。氏は広告美術工としてバランス感覚が抜群であり、高い | 描画することができる技能を有する。明治時代からの専門技能を受け継ぎ | | 自 | 斑 | |

| | 147 | 14 | 16 | 1 | 45 | 1 | 44 | 14 | 43 | 整理 | 番号 |
|--|--|---|---|--|--------------------|--|---|--|---|---------------|------------------|
| 京都府 | 印章彫刻工 | 静岡県 | 弦楽器組立工 | 福井県 | 漆工 | 群馬県 | フラワー 装飾師 | 宮城県 | 人形製造工 | 推薦団体名等推薦都道府県・ | 職 種 名 |
| (六十八歳) | 大 槻 秀 治 | (五十七歳 | いわかみまさる | | はたけなか しょういち | (七十一歳 | 田子・大代美・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ | | お か つ よ し | | 毛 り が な |
| 京都府 | 大槻栄文堂 | 静岡県 | (株)三創楽器製作所 | 福井県 | 古代匠畠中 | 群馬県 | (有)ビーケー デザイン | 宮城県 | つゝみ人形製造所 | 就業地 | 所 属 名 |
| 導にあたっている。 導にあたっている。 成ある賞を数多く受賞し、現在、これらの大会の審査員等も務め、後進 | 印章木口彫刻職種第一位(内閣総理大臣賞)を受賞、歴史的建造物等の印を手掛けている。第一一回技字体のバランスの良さ、彫り手順の正確さ等に高い楷書、行書、草書、隷書、篆書、古印体)を学び、 | ている。さらに、後進の指導・育成にも尽力している。、ショルダーハープといった新しい楽器を製作し、新たな音楽文化によう材料・製法を工夫し、製作する技能は全国随一である。また、ラ | 組立などすべて手作業で行う。西洋の楽器であるチのチェンバロは部品点数が千点以上にもなるが、氏チェンバロ製作に長年従事して培った優れた知識・ | 後継者育成にも尽力している。ションして子供向けの食器を製作するなど、漆器のPRに努めるとやすく難しい)を中心とした製品を多く製造。東京の企業ともコラ | しく見せる塗に卓越してお造業(丸物塗 | 績を収め、その高い指導力で、業界全体の人材育成に貢献してい承している。氏の指導を受けた若年技能者は多くのコンテスト等 | · 八○○人を超え高く評価されていずイン性の高さはでいます。 しょう かんしゅう しゅうしゅう はいかん かいまい しゅう | 見学者の受け入れにも努めている。見学者の受け入れにも努めている。見を加え、より良質な人形製作に尽力しているほか、後進への技能の一筆手書きし、素朴な表情を作る技能を有する。また、従来の製作工 | いるが、その中でも「彩色」の能力に卓越しており、普及に貢献してきた。機械化・分業化を行わず約五七年にわたり人形製造業に従事し、江戸時代から | 育工糸の村 | 支能力責の既要 |

第19部門

| | 149 |) | | 14 | 18 | | 惠 | | 番号 |] |
|---|------|--|----------------------|----------------------------------|---|---|--------|---------------|-----------|--------------|
| 高知県 | | 漆 工 | 兵庫県 | | - | 貴金属四工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工 | 推薦団体名等 | | | 職 種 名 |
| (六十歳) | 池田泰一 | いけだたいいち | (五十九歳) | — | 声 | くさのいちろう | (年齢) | 日 | | ふりがな |
| 高知県 | | 美禄堂 | 兵庫県 | | | ジュエリースタジオ | 就業地 | 就業 | | 所 属 名 |
| た。: : : : : : : : : : : : : : : : : : : | とまる | 、その卓越した技能から生み出された作品は堅牢にして優雅であり、高高知県の伝統工芸である「土佐古代塗」一筋に三七年間にわたり技能を | も力を傾注している。も力を傾注している。 | 、文様と文様の重なりの楽しさ、透かしが作る陰影の美しさを表現し、 | 下の実用に耐えうる強度を実現し、強度と繊細さを兼ね備えた作品を展えたい。 ・ 舒持 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | を用いて、寿型で成形するキャスト支去では下可能な薄さである強度の問題から高価な貴金属には敬遠される透かし技法において、 | | 打 育 巧 裕 夕 栩 要 | も カ 青 つ 既 | |

第20部門

| | 15 | 50 | | 東 | | 番号 | - |
|---|--|---|--|--------|---------|--|------------------|
| 鹿児島県 | | 大島紬図案士 | | 推薦団体名等 | 5 | 職 種 名 | |
| (七十五歳) | | F | まるのかつひろ | (年齢) | 年 | | ふ り が な |
| 鹿児島県 | | | 意匠企画室M | 就業地 | | | 所属名 |
| 、業界全体の発展に貢献している。 作業の多率化・省力化・精緩化のみならず 作業 | 、)算、加具は、引き设計)加立と、介力と、背政と)などって、三美している。また、図案設計に関するソフトウェア開発にも尽力し、図案 | な図案になると一千万個を超える点が必要となる。)を作成する技能にえる。い言語「『耳牙』目紀』の「『古書書』、作作に「方』の | るようこ凋整し、専用方艮纸上こ点として置き換え、色寸ナし大島紬の設計図に当たる「考案図案」(元となる図案を「絣柄 | | 书 | も ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | |

| 就業地 | 人数 | 氏 名 | 職種 | 名簿番号 |
|------|----|--------|-----------------------------------|------|
| 東京都 | 11 | 三橋 京子 | 染物職 | 61 |
| | | 島田進 | バン・焼菓子製造工 洋生菓子製造工 チョコレート製造工 | 108 |
| | | 鈴木 則子 | 衣装着付師 | 110 |
| | | 森 覚 | ソムリエ | 117 |
| | | 冨澤 浩一 | 日本料理調理人 | 124 |
| | | 田邉 年男 | 西洋料理調理人 | 129 |
| | | 金子 雅一 | 木工塗装工 | 140 |
| 神奈川県 | 5 | 小宮 三智男 | 旋盤工 | 13 |
| | | 中村 豊作 | 数値制御金属工作機械工 | 14 |
| | | 水信 道雄 | 製かん工 | 26 |
| | | 三上 誠司 | 左官 | 75 |
| | | 矢澤 秀夫 | 表具師 | 132 |
| 新潟県 | 2 | 上野 康秀 | その他の機械器具組立工 | 35 |
| | | 玉木 晴夫 | 表具師 | 133 |
| 富山県 | 2 | 宗景 昭 | 造園工等 | 84 |
| | | 福崎 幸雄 | 室内装飾工 | 134 |
| 石川県 | 6 | 灘地 康生 | 金属工作機械組立工・調整工 | 36 |
| | | 久保 均 | 建設機械組立工 | 37 |
| | | 米島 芳廣 | 染色仕上工 | 60 |
| | | 佐田 秀造 | 宮大工 | 70 |
| | | 内尾 孝夫 | 建築板金工 | 76 |
| | | 山名 洋一 | 造園工等 | 85 |
| 福井県 | 6 | 立松 栄治 | 建築板金工 | 77 |
| | | 司辻 光男 | ろくろ成形工 | 88 |
| | | 鷲田 富江 | れんが・かわら類成形工 | 89 |
| | | 木戸口 武夫 | 研磨用炭製造工 | 98 |
| | | 畑地 久満 | 日本料理調理人 | 127 |
| | | 畠中 昭一 | 漆工 | 145 |
| 山梨県 | 1 | 雨宮 正美 | すずり製作工 | 90 |
| 長野県 | 2 | 北原憲明 | フライス盤工 | 15 |
| | | 木村 不二雄 | 染物職 | 56 |
| 岐阜県 | 3 | 井口泉 | 建築大工 | 71 |
| | | 平田 愼治 | かわらふき工 | 78 |
| | | 柏木 一枝 | 紙手すき工 | 99 |

| | , | | | |
|-----|----|--------|-----------------|------|
| 就業地 | 人数 | 氏 名 | 職種 | 名簿番号 |
| 北海道 | 2 | 阿部 俊則 | 自由鍛造工 | 1 |
| | | 沖中 幸子 | 美容師 | 115 |
| 岩手県 | 2 | 齋藤 勝雄 | 機械時計組立・調整工 | 43 |
| | | 佐々木 米藏 | 機械木工 | 95 |
| 宮城県 | 3 | 阿部 信之 | 味そ製造工 | 103 |
| | | 佐藤 信 | 日本料理調理人 | 126 |
| | | 芳賀 強 | 人形製造工 | 143 |
| 秋田県 | 2 | 佐藤 咲夫 | 指物職 | 96 |
| | | 福井 正人 | 木材製品処理工 | 97 |
| 山形県 | 2 | 高橋 良人 | 婦人・子供服注文仕立職 | 62 |
| | | 剱持 猛雄 | 建築大工 | 74 |
| 福島県 | 3 | 安藤 勇 | 紳士服注文仕立職 | 63 |
| | | 成田 幸志 | 建築とび工 | 69 |
| | | 宗像 良三 | 石積工 | 87 |
| 茨城県 | 3 | 井坂 智明 | 数値制御金属工作機械工 | 12 |
| | | 清水頭 孝悦 | 製かん工 | 24 |
| | | 鈴木 房志 | 電子線応用装置組立調整工 | 44 |
| 栃木県 | 5 | 出頭 光好 | 鋳込工 | 2 |
| | | 渡辺 保夫 | 非鉄金属熱間圧延工 | 3 |
| | | 畠山 晴男 | アーク溶接工 | 25 |
| | | 奥山 敬正 | 光学レンズエ | 33 |
| | | 下山 義行 | 民生用電子・電気機械器具修理工 | 45 |
| 群馬県 | 1 | 田子 千代美 | フラワー装飾師 | 144 |
| 埼玉県 | 3 | 山本 あさ子 | 婦人・子供服注文仕立職 | 64 |
| | | 白川 丈晴 | 理容師 | 114 |
| | | 島田浩一 | 畳工 | 131 |
| 千葉県 | 3 | 大池 博美 | 製銑工 | 4 |
| | | 加藤 靜子 | 和服仕立職 | 68 |
| | | 渡邊 三郎 | 日本料理調理人 | 116 |
| 東京都 | 11 | 神谷 博行 | 電気めっき工 | 32 |
| | | 石井 義定 | 金属工作機械組立工・調整工 | 34 |
| | | 馬場 大作 | 電気通信機器組立工 | 46 |
| | | 志賀 耕次 | 電気配線工事作業者 | 51 |
| | | | | |

| 就業地 | 人数 | 氏 | 名 | 職種 | 名簿番号 |
|-----|----|-----------------------|----|----------------------|------|
| 三重県 | 5 | 黒木 | 房雄 | 金属工作機械組立工・調整工 | 40 |
| | | 井上 | 利武 | 繊維製品仕上工 | 58 |
| | | 川地 | 清廣 | 写真工 | 135 |
| 京都府 | 11 | 淺野 | 昭夫 | 手かじ(鍛造)工 | 8 |
| | | 小林 | 繁雄 | ひも製造工 | 59 |
| | | 久保 | 義信 | 造園工等 | 86 |
| | | 加藤 | 白次 | 陶磁器画工 | 92 |
| | | 髙家 | 昌昭 | 和干菓子製造工 | 104 |
| | | 浅野 | 富三 | 湯葉製造工 | 105 |
| | | 田口 | 茂雄 | 中華料理調理人 | 119 |
| | | 森川 | 裕之 | 日本料理調理人 | 128 |
| | | 岡崎 | 昭 | 表具師 | 136 |
| | | 磯垣 | 昇 | 畳工 | 137 |
| | | 大槻 | 秀治 | 印章彫刻工 | 147 |
| 大阪府 | 8 | 井上 | 和行 | 中間製品検査工 | 9 |
| | | 関本 | 政俊 | フライス盤工 | 20 |
| | | 東朋 | 券弘 | アーク溶接工 | 30 |
| | | 山中 | 敏郎 | 紳士服注文仕立職 | 66 |
| | | 中田 | 正起 | 左官 | 80 |
| | | 茅ヶ迫 | 正治 | 日本料理調理人 | 120 |
| | | 久松 | 幸彦 | 西洋料理調理人 | 121 |
| | | 兼井 | 龍文 | 家具類内張工 | 138 |
| 兵庫県 | 8 | 谷口 | 辰也 | 熱間圧延工 | 10 |
| | | 半仁田 | 照明 | 金属手仕上工 | 21 |
| | | 田 | 雅巳 | アーク溶接工 | 31 |
| | | 松尾 | 雅史 | 車両修理工 | 55 |
| | | BIGOT PH CAMILLE A | | パン・焼菓子製造工 洋生菓子製造工 | 107 |
| | | 檜山 | 和司 | 飲食物給仕人 | 122 |
| | | 山口 | 浩 | 西洋料理調理人 | 130 |
| | | 草野 | 一郎 | 貴金属細工加工工 | 148 |
| 奈良県 | 1 | 生野 | 邦彦 | 金属特殊加工機工 | 22 |
| 鳥取県 | 1 | 中川 | 壽男 | 旋盤工 | 23 |
| 島根県 | 1 | 松本 | 年正 | 杜氏 | 109 |
| 広島県 | 1 | 川上 | 真一 | 機械修理工 | 41 |

| 就業地 | 人数 | 氏 名 | 職種 | 名簿番号 |
|-----|----|--------|---------------|------|
| 静岡県 | 9 | 山下 正博 | 木工刃物製造工 | 27 |
| | | 新貝 晃一郎 | 寝具仕立工 | 57 |
| | | 鈴木 孝紀 | 紳士服注文仕立職 | 65 |
| | | 髙橋 道安 | 建築大工 | 72 |
| | | 村田 善彦 | 石彫工 | 91 |
| | | 佐次本 武司 | 木製建具製造工 | 100 |
| | | 伊藤 章晴 | 木彫工 | 101 |
| | | 仙田 治興 | 広告美術工 | 141 |
| | | 岩上 勝 | 弦楽器組立工 | 146 |
| 愛知県 | 23 | 中家 斉 | 機械込造型工 | 5 |
| | | 村上 保明 | 金属熱処理工 | 6 |
| | | 小池 政弘 | 金属組織検査工 | 7 |
| | | 山﨑 和彦 | フライス盤工 | 16 |
| | | 有村 正実 | 板金工 | 17 |
| | | 門池 好高 | 金属手仕上工 | 18 |
| | | 冨浦 充 | 金属製建具製造工 | 28 |
| | | 栗林 学 | 金属工作機械組立工・調整工 | 38 |
| | | 加地 利光 | 機械修理工 | 39 |
| | | 小幡 悟資 | 金属工作機械組立工・調整工 | 42 |
| | | 大内 正義 | 配電盤・制御盤組立・調整工 | 47 |
| | | 澤島 秀司 | 半導体チップ製造工 | 48 |
| | | 内山 聡 | 配電盤・制御盤組立・調整工 | 49 |
| | | 横田 豊秋 | プリント基盤組立工 | 50 |
| | | 川嶋 博見 | 自動車部品組立工 | 52 |
| | | 深津 敏昭 | 自動車ぎ装組立工 | 53 |
| | | 石川 實 | 自動車整備工 | 54 |
| | | 磯貝 喜代広 | かわらふき工 | 79 |
| | | 上野和彦 | 理容師 | 111 |
| | | 渡邉 昌子 | 美容師 | 112 |
| | | 吉田 茂男 | 日本料理調理人 | 118 |
| | | 鈴木 長次 | 中華料理調理人 | 125 |
| | | 福山隆 | 製図工 | 142 |
| 三重県 | 5 | 髙木 康彦 | 金属手仕上工 | 19 |
| | | 富田 幸治 | 成形プレス工 | 29 |

| 就業地 | 人数 | 氏 名 | 職種 | 名簿番号 |
|------|----|--------|---------|------|
| 山口県 | 1 | 鴛海 貞夫 | 日本料理調理人 | 123 |
| 徳島県 | 1 | 新居修 | 染料製造工 | 139 |
| 香川県 | 2 | 池田 勝 | 建築板金工 | 82 |
| | | 西村 文男 | 竹彫工 | 102 |
| 愛媛県 | 1 | 大森 利夫 | 理容師 | 113 |
| 高知県 | 1 | 池田 泰一 | 漆工 | 149 |
| 福岡県 | 1 | 白石 榮子 | 和服仕立職 | 67 |
| 佐賀県 | 2 | 大串 惣次郎 | ろくろ成形工 | 93 |
| | | 市川 龍男 | 陶磁器画工 | 94 |
| 熊本県 | 1 | 坊野 政典 | 型枠大工 | 73 |
| 大分県 | 2 | 三浦 榮治 | 製銑工 | 11 |
| | | 江藤 浩二 | れんが積工 | 81 |
| 鹿児島県 | 2 | 安田 宣久 | 杜氏 | 106 |
| | | 丸野 勝寛 | 大島紬図案士 | 150 |

- 43 -

技能者表彰規程(昭和四二年労働省告示第三八号)

(目 的)

第一条 この規程は、卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、 もって技能者の地位及び技能水準の向上

を図ることを目的とする。

(表彰者及び被表彰者)

第二条 表彰は、厚生労働大臣が、次の各号のすべてに該当する者について行う。

- 一 きわめてすぐれた技能を有する者
- 一 現に表彰に係る技能を要する職業に従事している者
- 三 技能を通じて労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者
- 四 他の技能者の模範と認められる者

(表彰の方法等)

第三条 表彰は、 毎年1回、 表彰状、卓越技能章及び褒賞金を授与して行うものとする。

- 2 表彰状の様式は、別表第1のとおりとする。
- 3 卓越技能章は、盾及び徽章とし、その形状及び制式は、別表第2のとおりとする。

(被表彰者の選定)

第四条 他当該表彰を受ける者の推薦に当たる者が推薦した者のうちから、 表彰を受ける者は、都道府県知事、全国的な規模の事業を行う事業主団体若しくはその連合体又は一般社団法人若しくは一般財団法人その 厚生労働大臣が選定する。

2 厚生労働大臣は、 前項の規程により選定を行うに当たっては、これを公正かつ適切に行うため、技能者表彰審査委員の意見をきくものとす

る。

3 技能者表彰審査委員に関し必要な事項は、別に定める。

(表彰状等の返納)

第五条 厚生労働大臣は、第三条に規定する表彰状及び卓越技能章を授与された者が、禁錮以上の刑に処せられ、又は被表彰者としてふさわ

しくない非行のあったときは、これを返納させることができる。

(細 目)

第六条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な細目は、厚生労働省人材開発統括官が定める。

| | | 卓 | L | 者 | あ | | |
|-----|---|---|----|----|---|----------|---|
| | 苹 | 越 | | 0 | な | | 表 |
| | 成 | 技 | 技 | 福 | た | | |
| | | 能 | 能 | 祉 | は | | |
| | 年 | 章 | 者 | 0 | | | |
| | | を | 0 | 増 | 卓 | | 彰 |
| | 月 | 授 | 模 | 進 | 越 | | |
| 厚生 | | 与 | 範 | 及 | L | | |
| 一労働 | 日 | L | کے | Si | た | | |
| 大臣 | | 7 | 認 | 産 | 技 | 被 | 状 |
| Д | | 表 | め | 業 | 能 | 表 | |
| ഥ | | 彰 | 5 | 0 | を | 彰 | |
| 氏 | | L | れ | 発 | 5 | 者 | |
| 名 | | ま | る | 展 | つ | 氏 | |
| | | す | 0 | に | 7 | 名 | |
| 印 | | | で | 寄 | 労 | \smile | |
| | | | | 与 | 働 | 殿 | |

卓越技能章 (盾) の形状



卓越技能章 (盾) の制式 地 質 木材及び金属 大 たて二十八センチメートル よこ二十二センチメートル き さ 地 だ 黒うるしつやけし仕上げ は 中央の金属部 銀めっきいぶし仕上げ 卓越技能章の部 銀めっきみがき仕上げ プレートの部 銀めっきつやけし仕上げ

卓越技能章(徽章)の形状

表 面







| | 卓越打 | 支能章(徽章)の制式 |
|----|---------|--------------|
| 地 | 質 | 土台純銀、のせこ金 |
| 大 | き さ | 直径十五・五ミリメートル |
| | 文字の部 | 金仕上げ |
| | 小 花 の 部 | 銀仕上げ |
| 表面 | 輪の内側の部 | 銀古美仕上げ |
| | 輪の部 | 銀みがき仕上げ |
| | 花弁の部 | 金めっきみがき仕上げ |
| 裏 | 面 | 金めっきみがき仕上げ |

一 総合審查委員(順不同·敬称略) 技能者表彰審查委員名簿

委 訓 産 報 学 員 業 練 道 識 \mathcal{O} 関 関 関 関 区 係 係 係 係 分 今 上 内 大 椋 井 或 田 木 邊 関 原 水 井 海 野 田 田 氏 幸紀 東 哲 洋 治 秀子 房子 浩 俊 支 秀 史 博 名 夫 郎 芝浦 学 習 独 中 上 日 日 刊 <u>\frac{1}{2}</u> 般 般 本 央 原 職 ネ 放 行 院 社 社 工 工 大学 業 Ì 送 業 業 政 寸 団 能 協 大学 法 法 法 Δ 新 ブ 聞 力 人 人 会 人 開 社 名 発 専 大学 誉 全 日 玉 協 務 代 教 玉 本 } 立女性教育会館 会 技 経 工 理 表 院 授 現 業 取 能 済 事 工 学 理 株 締 士 寸 役社長 事 숲 体 式 7 ネジ 連 会社 長 連 職 合 合 会 会 メ ン 代 理 会長 \vdash 事 専 表 研 長 務 取 究 理 締 事 科 役 教 授

※現職は審査委員会開催時のもの

二 部門別審査委員 (順不同・敬称略)

| 部門別 | 氏 和 | 現 職※現職は審査委員会開催時のもの |
|-------------------------------|-------|-----------------------|
| 金属材料製造の職業第1部門 | 熊井真次 | 東京工業大学 教授 |
| | 太田 大介 | 一般社団法人 日本鋳鍛鋼会 専務理事 |
| | 酒句 宗二 | 一般社団法人 日本鉄鋼連盟 常務理事 |
| | 田口弘 | 一般社団法人 日本鋳造協会 事務局長 |
| | 村田敏健 | 日本金属熱処理工業会 専務理事・事務局長 |
| 金属加工の職業第2部門 | 戸倉和 | 東京工業大学 特命教授 |
| | 綾部 統夫 | 一般社団法人 日本機械工業連合会 常務理事 |
| | 澤武一 | 芝浦工業大学 デザイン工学部 准教授 |
| その他の金属加工等の職業金属溶接・溶断・めっき工、第3部門 | 戸倉和 | 東京工業大学 特命教授 |
| | 岡本 眞一 | 東京情報大学 名誉教授 |
| | 森脇隆 | 森脇鍍金工業株式会社 代表取締役 |

- 50 -

| | | <i>0</i> 耶 等 | つ戦奏等輸送用機械器具組立・修理第6部門 | | | | 電気化等 15 倍 0 聯 第 | 宣気度巻男系の裁判電気機械器具組立・修理及び第5部門 | | G 耳 章 之 套 | の散業等一一般機械器具組立・修理第4部門 | 部門別 |
|-------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------|--------------|---------------------|----------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----|
| 矢野 義博 | 田山稔 | 島崎克教 | 寺本進 | 小野田 聡 | 海老塚 清 | 内田 俊彦 | 今井 正道 | 小林 尚登 | 中澤國忠 | 木村 眞琴 | 戸倉和 | 氏名 |
| 一般社団法人 日本自動車工業会 理事・事務局長 | 豊川製作所長 日本車輌製造株式会社 鉄道車両本部 | 技術総括部長ジャパン・マリンユナイテッド株式会社 | 東京大学 准教授 | 電気事業連合会善専務理事 | 一般社団法人 日本電機工業会 専務理事 | 一般社団法人 日本電設工業協会 専務理事 | 常務理事 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 | 法政大学 デザイン工学部 教授 | 全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合 副理事長 | 日本光学工業協会 会長 | 東京工業大学 特命教授 | 現職 |

| | 古 | 全 | \. | 建設の職業等とはいる。とは、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、 | | 廣 | | 衣服の職業の職業の機能をお明している。 | 油 | | の職業 との職業 との職業 との職業 との職業 との職業 という おいまい はいまい はいまい という アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ | 部門別 |
|----------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|---|-----------|-------------|------------------------|---------------------|-----------------------|-------------------|---|-----|
| 山山 | 草 野 | 金森 | 大﨑 | 杉本 | 安武 | 川 | 鈴 木 | 後藤 | 渡邉 | 小林 | 後藤 | 氏 |
| 修平 | 光 年 | 勝三 | 精一郎 | 洋文 | 神一郎 | 妙 子 | 榮治 | 景子 | 正義 | 信 | 景子 | 名 |
| 一般社団法人 日本建設業連合会 専務理事 | 一般社団法人 全国中小建設業協会 専務理事 | 副会長 一般社団法人 全国中小建築工事業団体連合会 | 一般社団法人 日本建設軀体工事業団体連合会 | 東海大学 工学部 建築学科 教授 | テーラー安武 代表 | 戸板女子短期大学 教授 | 一般社団法人 全国和裁着装団体連合会 副会長 | 奈良工業高等専門学校 校長 | 一般社団法人 日本絹人繊織物工業会 副会長 | 全国中小企業団体中央会 事務局次長 | 奈良工業高等専門学校 校長 | 現職 |

| | | 窯業製品製造の職業等第12部門 | | | 植木職、造園工等の職業第11部門 | | | の職業等 | 板金工及び建設機械運転タイル張工、左官、建築第10部門 | 部門別 |
|------------------|------------------------|-----------------|-----------------------|----------------------|------------------|-------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------------|-----|
| 原田一男 | 酒本 修 | 飯野一朗 | 金森勝三 | 宇田川 辰彦 | 杉本洋文 | 山田 | 邑智 保則 | 大﨑 精一郎 | 杉本 洋文 | 氏名 |
| 合資会社 石松石材商会 代表社員 | 公益社団法人 日本セラミックス協会 専務理事 | 東京藝術大学 名誉教授 | 副会長 全国中小建築工事業団体連合会 | 一般社団法人 日本造園組合連合会 理事長 | 東海大学 工学部 建築学科 教授 | 全日本板金工業組合連合会 副理事長 | 一般社団法人 日本左官業組合連合会 副会長 | 一般社団法人 日本建設軀体工事業団体連合会 | 東海大学 工学部 建築学科 教授 | 現職 |

| | | 生活衛生サービスの職業第15部門 | | | 食料品製造の職業等第14部門 | | | C 用 | か戦業等本・竹・つる製品製造第13部門 | 部門別 |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------|------------------------------|----------------|-----------------|------------------------------|--------|---------------------|-----|
| 藤原 | 寺園 | 小林 | 結城 | 遠藤 | 西尾 | 前 川 | 遠藤 | 秋道 | 赤松 | 氏 |
| 國明 | 洋行 | 信 | 攝子 | 和夫 | 昇治 | 秀幸 | 和夫 | 斉 | 明 | 名 |
| 全日本美容業生活衛生同業組合連合会 副理事長 | 全国理容生活衛生同業組合連合会 常務理事 | 全国中小企業団体中央会 事務局次長 | 有限会社 マンダリン工房 代表取締役 | 労働政策本部 副本部長 一般社団法人 日本経済団体連合会 | 東京商工会議所 常務理事 | 職業能力開発総合大学校 准教授 | 労働政策本部 副本部長 一般社団法人 日本経済団体連合会 | 評価部次長 | ものつくり大学 学長 | 現職 |

| 山田亮 | 中村 瑞穂 | 等の職業 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――― | 藤原 成曉 | 繁昌孝二 | 上田耕一郎 | 内装仕上工等の職業 内張工、表具師、塗装工及び 和栗 安広第17部門 | | | の職業 飲食物調理及び接客サービス 西尾 昇治第16部門 | 部 門 別 氏 名 |
|-----------------|-----------------|---|------------------------|------------------|------------------------|------------------------------------|--------------------|-------------------|------------------------------|-----------|
| 中央職業能力開発協会 常務理事 | 職業能力開発総合大学校 准教授 | 評価部次長 三二二二二三三二三二三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三 | 売 ものつくり大学 教授・図書情報センター長 | 一職業能力開発総合大学校 准教授 | 郎 東京工芸大学 芸術学部 写真学科 准教授 | 専務理事・事務局長一般社団法人「日本産業訓練協会 | 有限会社 マンダリン工房 代表取締役 | 全国中小企業団体中央会 事務局次長 | 東京商工会議所、常務理事 | 7 現 職 |

| | Ι. | その他の職業 20部門 | | l. | \$F | の職業 装身具等身の回り品製造 に第19部門 | 部門別 |
|-----------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------|----------------|-------------|--------------------------|-----|
| Щ Ħ | 大島 | 秋 道 | 田田 | 坂 元 | 飯 野 | 和栗 | 氏 |
| 亮 | 博 明 | 斉 | 亮 | 亞 郎 | 朗 | 安広 | 名 |
| 中央職業能力開発協会 常務理事 | 特別客員教授 ものつくり大学 技能工芸学部 建設学科 | 評価部次長 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 | 中央職業能力開発協会 常務理事 | 株式会社フィーゴ 取締役社長 | 東京藝術大学 名誉教授 | 専務理事・事務局長一般社団法人「日本産業訓練協会 | 現職 |